


# 生存のすべてを託す、一球のシュートもある。

スポーツマンたちは激しい練習に耐える。それは満足のいくプレーを行うためである。
自らが描いたイメージを、自らの肉体によって実現することが、
彼らの目標であり、彼らのよろこびでもある。
それが無為な行為だとしたら、ロマンと呼んでいいかも知れない。
それこそが、スポーツマンたちの生活そのものであるから。
「アディダス」ハンドボールウェアは、最新の機能で彼らのロマンに応えます。

adidas®

# ロサンゼルス・オリンピックを終えて

(財)日本ハンドボール協会
専務理事　大野　金一

第23回オリンピックは、アメリカ合衆国第二の都市ロサンゼルスで開催された。今大会は、初めて民間の組織委員会によって運営された。既存の施設を使ったために、ハンドボールに限っていえば、会場が市の中心部（選手村）から50㎞も離れ、体育館も観客の収容人員が四千で、また、床の上に張ったタラフレックスが滑り易い、という施設面での不備が指摘されようが、練習場の計画や競技の運営については、周到な計画に基づいて運営されていた。

気候は、日差しは強烈だが湿度が低いので、日陰や館内は涼しい。夜は冷え込んで寝苦しいことはない。心配された交通渋滞については、大競技場の集まっている南カリフォルニア大学（選手村）周辺以外は車の流れはよかった。フリーウエイもほとんど渋滞がなかった。



さて、日本のハンドボールチームは、力の限りを尽して闘ったが、10位に甘んじた。激しい肉弾戦に力も消耗してしまったという感じである。背が高く、重量もあるヨーロッパ勢の猛攻を防御するには、かなり激しいディフェンスを要求されるうえ、小突かれ、もみ合ううちに、徐々にボディブローの効果が出てきて体力を消耗してしまう。これが攻撃に影響して得点力を激減させる。

主力選手の半数がモスクワ・オリンピックの代表選手に選ばれており、体力的にはピークを越えて既に限界に来ていた。象徴的に言えば、総合的に見て蒲生選手に匹敵する選手が未だに出ていないことに表われているように、選手の層が非常に薄いことに問題がある。

## 高校生の強化が急務

ヨーロッパ勢は、背丈、体重、パワーがあり、そのうえ動きも鋭い。これに対抗するには、これを上回るスピードとパワー、とくに瞬発的なそれが必要である。そのためには、体力の最盛期である20～25歳の年齢層で花を咲かせなければならない。

他方、ハンドボール競技に要求される経験を積むためには、遅くとも高校時代から、基本体力の養成を含めた、一貫し特別の強化訓練が必要になってくる。

先日NHKテレビで放映されたように、中国では、全国の小学生からピックアップされた素質のある生徒を業余学校という特殊な学校に入れて、そこで一貫した特別強化訓練を施している。体操やバレーの世界制覇はその当然の結果である。韓国でも、特定の高校に優秀選手を集めていると聞く。

学生、生徒は、常時一ヵ所で強化合宿もすることは不可能なので、中国や韓国のような方法でなければ世界制覇は不可能とも言える。

日本でも、そのような方法が絶対不可能とは言えないが、非常に難しい。せめて、全国に数ヵ所の拠点校を設けて、そこの指導者をナショナルチームのコーチに依頼し、特定の期間その地方の有力選手も集めて、共通の一貫した指導体系のもとに、特別強化訓練をすることが最低限必要になってくる。昨年度から始めた高校生の強化合宿をもっと徹底する必要性を痛感した。

## 小学生対策も重要

世界に勝つためには、やはり素質がなければならない。それを得るためには、小学生の頃から発掘して育てなければならない。また、小さい時からハンドボールの面白さを知らせてハンドボールに誘引する必要がある。来年度の小学生全国大会は是非実現しなければならないし、小学生の指導者対策も並行して推進となければならない。

今回のオリンピックは、結果だけを見れば、従来のオリンピックや世界選手権大会と同様に、各大陸代表が下位にへばりつくというパターンに終ったが、一時は日本を超えた中国、韓国をアジア予選で破ってロサンゼルス・オリンピックに出場しただけに、報道機関も大きな関心を持ち、ハンドボールファンも大きな期待をお寄せいただいたと思う。テレビにはもう一つピリッとしまらないように映ったかも知れないが、選手諸君は最後の力をふりしぼって闘った。市原監督、野田コーチも、予選の最終戦まで片目が開かずによく眠れなかったのではないかと思う。アジア予選や本番の前に、いろいろな方々のご協力や励しをいただいた。今後も変らぬ励しをお願いしたい。

今回皆さんのご期待に応えられなかったのは、一にも二にも、前述のような底辺の普及も含めて、長期的な強化計画が立ち遅れたことに原因があると思う。責任を転稼し合ったり、また逆に、お互いをかばい合っていては進歩はあり得ない。冷厳なる現実を見究めたうえで、実行に移していくことこそわれわれの責務である。引き続き、皆さんのご指導とご叱正をお願いする次第である。

# ロサンゼルス・オリンピックを終えて

# あらゆる重圧を越えて善戦した

## すでにソウルへの道をスタートした

日本選手団団長 **渡辺慶寿**

### 感激したアメリカの奉仕精神

1984年第23回ロサンゼルス・オリンピック大会は8月12日の閉会式をもって全ての競技が終了した。このオリンピックの特徴は、民間運営であり、多くの米国民の奉仕活動によってささえられたことにある。厳しい選定によって、選ばれた人達の奉仕活動は、各所で感動を参加者達に与えた。米国民の開拓精神が奉仕活動に繋げることは、早計であるかに思えるが、私には関係があるように思えてならない。

厳しい村内外の警備やチェックが各所でみうけられたが、村内外の人々の明るさは、開会式の米国選手団の雰囲気を見れば理解できよう。フリーウェイで日本のハンドボール選手団がバスで練習や試合に移動する時でも、抜き去る車から明るく手を振ってくれたことは、疲れを忘れされるし、緊張をほぐしてくれた。

試合会場や練習会場は、全て既製の施設を利用（大学等）しており、質素そのものであるが明るい観衆の性格が会場の気分を盛り上げてくれた。奉仕とは、自己の利益と顧みず、社会のために尽くす、この言葉の意味する精神を生かしてのオリンピックであった。ある人は、職場を休み、ある人は商売を人にまかせ、あるいは休んでのオリンピック奉仕活動であった。頭が下る思いである。

ハンドボールは、予選リーグをカリフォルニア大学ファラートンの体育館で行なわれた。観衆は約4000人を収容できる体育館で、連日チケットは、午前の部と午後の部にわけられ、予定発売数は全て消化したとのこと。観衆の多くは、ハンドボールを初めて見る人達が多く、各試合前の場内にルール説明を流していた。観衆の多くは、初めて見る競技であるにもかかわらず自分なりにゲームを楽しんでいた。

決勝戦と3位決定戦は、バスケット会場であるフォーラムで行なわれ、1万6000人収容できる会場は一杯の人で埋まり、オリンピックという名の魔力であろうか、不思議な幻想の中で展開した。

今期の日本のナショナルチームが結成されたのが1983年5月、第1回の強化合宿が6月に入って初めて行なわれた。モスクワ大会出場を目前にひかえ、国家的立場から出場中止を余儀無くされた選手も多く含まれている。1982年のアジア大会で中国に敗れ、かなりの痛手を受けている選手達ではあったが二つの大会のハンディを吹きとばす勢いの選手達であった。目標は飽くまでもロサンゼルス・オリンピック出場であり、アジア予選にまず勝つことであった。

### 逆境乗り越えた出場

日本のチームスポーツの衰退の中で、ハンドボールがオリンピック出場を果すことにより、一気にハンドボールの名を全国民に知らせることができるよい機会でもあることを信じ、ナショナルチームの始動となった。アジア予選まで数回の国内合宿をへてユーゴスラビア遠征とアジア予選にかける意気込みは、たしかにあった。しかしアジア選手権大会（ソウル）で韓国に敗れ、ユーゴ遠征の疲れがあったとはいえ、かなりの痛手となった。中国、韓国に敗れ、チームをいかに建て直すかは、予選までの残り少ない時間の中では至難の技であるかに見えた。

市原監督をはじめコーチ、選手達は、ハンドボールの関係者、多くのファンの声援によって逆境を乗り越え、若い韓国に1敗をしてのオリンピック出場である。

オリンピックの出場権を得、チームは予定を変更して、ノルウェー、ユーゴ、西独遠征を試み、オリンピック対策に備えた。4、5月にはジャパンカップ、スポーツフェアを通して国際試合を体験し、5、6月にオリンピック最終の仕上げとして3度目のヨーロッパ遠征を行ないロサンゼルスに備えた。

東側諸国のロサンゼルス・オリンピックボイコットのため予定していた6ヶ国不出場のため入替により、日本有利説が流れたし、チームも、ユーゴ、ルーマニアには勝てないまでも善戦の希望をたて、第1戦のスイス戦に勝利をおさめれば、6位入賞は夢ではない予想が成立するのであったが、結果はスイス戦に敗れ、続いてユーゴ、ルーマニアに善戦したとはいえアイスランドと敗戦が続き、予選最終戦でアルジェリアに辛勝となる結果となった。

順位決定戦では米国と対戦9、10位の座を競ったが結果は惨敗となる。全般を通して、日本チームは敗れたとはいえ内容をみるとよく戦ったの一言につきる。しかしソ連、東独をはじめとする欠場があっただけによけい世界の壁は厚いことを痛感する。

## ミュンヘン以前の体格差

世界のレベルは、かなり向上している。体格を例にとっても一目瞭然である。日本チームは、これらのことを充分に理解をして強化の対策をした。特にディフェンスでは積極的に対処する訓練を積んだ。しかし攻撃面でエネルギーの消耗を余儀無くされ、得点を重ねることが出来ない場面が多くあり、敗因の大きな要素ともなっている。特に9、10位決定戦での対アメリカ戦は、日本チームの全エネルギーが使い果され、結果はともかく感涙せざるをえないものであった。選手達は気持の面でも、技術面でも、体力面でもよく戦ったといえよう。全エネルギーを使い果し、ただ終了の時間を待つばかりの状態である。この原因は明白である。



ロス五輪での日本ベンチ

近代ハンドボールは、格闘技化され、心と心、からだとからだの戦いである。平均年令で他諸国と3～4歳の違いは、体力面で大きなハンディがあったことは勿論である。中にはモスクワに備えた選手、そして今回のオリンピックと引き続いた選手を中心とした日本チーム、選手達は自己練磨に苦しみ、悩み自己の限りを尽してきた。見事な変身ではあったが結果はそれに反した。これが日本のハンドボール界の現状である。

体格を一つとってみても、身長で例をみれば日本チームが大型化されてはきているが、13年前の第7回世界大会当時の出場チームアベレージが180センチ、日本チームは平均に近い数値を示したが、今回の日本チームの平均は184センチ、他の多くのチームは190センチ前後であり、しかも中には2メートル台が数名いる現状では、何とかしているとはいえミュンヘン以前の状態となっている。

強化委員会でも指摘されているごとく、優秀な人材を若い層の中から選出し、ソウル・オリンピックに最大の目標を定めて出発することがなによりの活力材となる。しかも早急にしなければならない問題である。今後の強化内容の目標は、当然の事ながら基本技術を収得させることであるが、体力養成を第1にかかげるべきである。技術的には、他の諸国がやっていない、しかも早効性のあるものを編み出し、ソウル・オリンピック大会で一気に披露すべきものを備えることである。

特に体力面の強化は、ミュンヘン・オリンピックを回顧して感じたことと、12年を経た今日感じることは全く同じであったことを思えば、かなり真剣にウエイトトレーニングをはじめとする一連の科学トレーニングによって選手を養成する必要がある。

## 強化対策に英智を結集

ソウル・オリンピックに向け、どのような人材を発掘し養成するかにかかっているが、結果をみてからでは遅い。単に時代の推移のみで次の時代のバトンタッチであってはならない。

今回のオリンピックの結果をハンドボール界がどの様な評価をするかは、ある程度時間を待たなければならないが、これほどオリンピックに熱情を燃やしたことは先にはない。それだけに市原監督の期待は多かった。彼はあらゆる重圧を乗り越えて戦い抜いてくれたと私は思う。ただロサンゼルス・オリンピックは終わったことはたしかだし、ソウル・オリンピックは、すでにスタートされたこともたしかだ。

今後の強化に関する遂行の仕方については、今年に入り強化委員会でも討議して方向を打ち出した。チームをいかに強化するかが委員会の使命である。従って男女チームについては、独自性の強化をなさなければ問題は解決しない。両チームの特性を活かして強化策を定めることによって、プランニングをし強化内容の確認をすることこそ路が定まるものである。

要は男女強化委員会の独自性と、両委員会すなわちナショナル委員会として、ソウルに向け、計画、実施に対して英智を結集してこそよい結果をみいだすことになるであろう。従ってこの基本姿勢に合ったナショナルチームの指導者の選定も大切な要因になる。また今回の男子ナショナルチームに多くの時間を費やしてくれ、他の競技団体にみられなかった選手の疲労回復や健康管理に積極的に関与してくれた、医事ドクターの存在は高く評価されるであろう。先にも挙げた体力の養成が次期ナショナルチームの主課題としなければならないならば、トレーニングドクターの活躍もソウルに向け大きな比重となる。

ナショナルチームは、日本のチームであり日本協会の財産でもある。多くの人達の適切な、効果のある介入こそチーム向上に繋ることを忘れてはならない。ややもすると監督のチームであり、コーチのチームになりがちだ。現場中心となる傾向は、チームの弱体にも繋る。これからの日本チームが目指す試行は、全体の理解のもとにエネルギーを発揮することを痛感する。

最後に今期強化に対して、日本体育協会、日本協会関係企業、チーム、多くのファン、そして地方協会、日本協会各役員に対し物心両面でご支援いただいたことを深く感謝します。また市原監督をはじめとしてコーチ、選手達には、職場、家庭の理解があったとはいえ、自己の可能性を追求してくれ、最後まで戦い抜いてくれたことを、心よりお礼を申しあげます。諸君達の願いは必ず後進が果たす日がくることであろう。

# ロサンゼルスオリンピック日本チームの全戦績　善戦及ばす10位

## 日本―スイス戦　終盤体力差で苦杯

日本 13（6-7 / 7-13）20 スイス

日本が、GK井藤、左から西山、生駒、蒲生、中本、高村、池ノ上の防御で臨めば、スイスは、左利き14番イエーレ、五番シャール、ポストに13番、3、4番長身ウェーバー、11番の布陣でスローオフ、両チームとも硬さが目立ち、ミスが続出する。タイトルのかかったオープニングゲームの重圧をあらためて感じさせる。

2分スイス3番ベッチマンが45度外から先制するが、試合の硬さは取れない。日本の初得点は、9分蒲生の中央からのロングを待たなければならない程である。

試合が動きだしたのは、16分スイス11番のサイドシュートで、1対4となってからである。

17分中本が巧みな反転でポストを決める。松井が高打点のサイド、逆45度回りこみにパスフェイクを盛り込み会場を沸かす巧技で日本の流れを作った25分、高村がインターセプトで持ち込み5対5とする。一気の逆転を期待する日本を、スイスは、ねばり強いサイド攻撃で加点し、一歩もゆずらない。終盤、蒲生、シャールのロングの打ち合いで6対7となり、後半への望みをつないだ。

後半、PTを井藤が好セーブした3分、池ノ上の得たPTを山本が確実に決めて7対7とすると、会場のアメリカ人の好サポートを受け白熱化する。

シャール、ウェーバーの体力を活かした攻めに、14番イエーレ、11番プラッツァーのシャープな動きをからませたスイスの攻撃は、日本にハードラックな判定をもたらすが、6分西山、7分蒲生で9対9と肉迫するがリードは奪えない。10分ウェーバーのロングで初めて2点差となるが、中本のブロックから池ノ上、11分西山、15分山本のカットインでPTと、先行するスイスを追う。しかし16分西山のシュートがポストに当たる頃から体力差に押し切られだし退場者を出す。マンツーマンを取り入れた防御にとまどいを見せる終盤5連取を許し、13対20の予想外の差で初戦を失った。

内容通りの得点差で終わりたかった試合である。（樋口利郎）


スイス戦での高村のシュート

## 日本―ユーゴ戦　壁の厚さを痛感

日本 15（8-14 / 7-18）32 ユーゴ

予選リーグ第2戦は、日本でお馴みのユーゴスラビアと対戦。互いに知り過ぎた相手である。この大会優勝を狙うユーゴは、第1戦で痛い躓きがあり、何んとしてもこの日本戦で調子を整えたいところだろう。それに対する我が日本は、第1戦のスイスに敗れ、いささか気落ちした様子が見える。

しかし、第1戦の堅さは取れて、滑り出しは好調。まず互角の対戦となり、13分経過したところでは4対4と大接戦となり、大きな夢を抱かせた。しかし、14分20秒、16分30秒に連取され2点先行された。だが頑張る日本もこの大会満を持す生駒がロングを決め、さらに7分25秒、好調の若きアタッカー高村がロングを決めて6対6と再び並ぶ。その後調子の波に乗る生駒がカットインしてPTを取り、主将山本が確実に決めて1点リードと世界の強豪を相手に堂々のリードである。

その後はさすがにユーゴで、守備隊型を変えたり、攻撃に変化を持たせて日本の長所を完全に抑え、ロング、ミドルを中心に巧みにサイド、ポストを攻撃し、完全に攻守の乱れる日本に対し6連続得点をあげ、日本の攻撃をピタリと止めた。日本の善戦も束の間、苦戦と変り前半を終了する。

後半に入ってもユーゴの猛攻は続き、カットイン速攻、さらにはロングで連取された。それに対する日本は、9分過ぎに山本が跳び込んでようやく1点、さらに蒲生のステップ、山口、池ノ上などが決めて必死に追いかけようとするが、単発のロングシュートであっさり返され、15対31と大きくあけられて終了した。

ユーゴは、日本国内で行なった国際親善での試合とは全く違う意気込みで挑み、世界一流の凄みをまざまざと見せ付けられた。それにしても、逆に日本を研究していてリードマン蒲生をハーフマンツーでつぶしたり、また離して次の動きを見るなど苦心のほどが見られた。

壁の厚さを充分に感じながらも頑張る日本チームに、胸が熱くなる思いがした。（川上整司）

## 日本―アイスランド　後半不運続出に泣く

日本 17（9-9 / 8-12）21 アイスランド

この日、必勝を期しての日本であったが、立ち上がりの5分で0-3とリードされてしまった。日本も積極的に攻め、打って出たのであるが、得点に結びつかなかった。10分過ぎあたりから日本もじりじり追い上げ、高村のロング、蒲生のサイドへ回り込みながらディフェンスの上を抜いたシュート、池ノ上のブラインドをついたシュート、山本のサイドシュートで5-6まで追いついた。18分には、相手ミスに乗じた速攻からペナルティースローを得た。これを山本が確実に決め6-6とした。ここからは一進一退のゲーム展開となり、相手ミスからの速攻を松井が決めて9-9で前半が終了した。

後半に入るとすぐ日本に不正交代が取られた。ディフェンスとオフェンスのあわただしい交代時の出来事であった。続いて井藤がゴールポストに当ってはねかえった

ボールを目に当て負傷退場と言うアクシデントが起きた。

　しかし、日本は頑張り、蒲生がペナルティースローを決め11-10と初めてリードを奪った。守っても大畑が好守を見せた。10分過ぎには速攻で点を取られたが、すぐ池ノ上で取り返した。しかし、アイスランドに2点連取され12-13。さらに日本の退場者ではずみがついてしまった。ここから10分間でペナルティースロー3本を含む5点を取られ14-18とされた。

　しかし、日本もふんばり、池ノ上、山本のペナルティスローで16-18とした。ここで残り5分、まだ行けるとの期待をいだかせたが、アイスランドはロングからのリバウンドがノーマークのポストに渡るという幸運で加点。さらに、日本のチャージングからの速攻、最後にサイドから決められて万事休した。（村松　誠）



対アルジェリア戦でようやく1勝

## 日本―ルーマニア
## 攻守のリズム崩れる

日本 22（11-12、11-16）28 ルーマニア

　日本は、一進一退の立ち上がりから、山口のロングシュートが冴えて、3分3-2とリードするや日本ペースで試合を進め、ルーマニアにリードを許さない優位の展開とした。しかし、18分蒲生で9-7とした後、攻撃でのイージーミスが目立ち、ペースを崩し始めた。この機にルーマニアが反撃、スティンガの強打などで4点を連取し、26分9-11と逆に2点の差をつけた。

　今大会の調子からここで一気に崩れるかと思われた日本だったが、この日はここで頑張り27分池ノ上、そして、28分には松井の技巧的サイドシュートが決まり、同点とした。この後、29分15秒松井が退場となり、一人少ない間にルーマニア左腕の大砲ドミトルがロングシュートを決め11-12とされたものの、後半に期待を持たせる展開となった。

　後半は、30秒池ノ上得意のサイドハンドシュートをルーマニアGKムンティアヌが阻止、その直後の攻撃でルーマニアが見事なコンビで放ったノーマークのポストシュートを、これも井藤がナイスキープ、相次ぐ好守に場内は大歓声となった。しかし、この守備でポストプレイヤーと交錯した井藤が膝を負傷。1分以上の中断の後、またもルーマニアのサイドシュートを好守して松井の単独速攻につなぎ同点としたが、ここで遂に井藤が退場、上村と交替した。この直後、日本は守備のペースが乱れて集中を欠き、2分ドゥラウ、3分ドミトルに連取を許した。日本も4分蒲生が1点を返したものの、攻めが急激に単調になってミスを繰り返し、ルーマニアの多彩な攻撃の前に、9分までに一気に13-18とされた。

　その後は、日本も蒲生・松井・山本が好シュートで得点するものの散発的な動きに終わり、一方のルーマニアは主砲スティンガがフル回転、余裕を持った試合運びでジリジリと点差を広げられ、20分過ぎに19-26とされた時点で、完全に勝敗が決した。

　日本は、今大会では最も良い出来と言え、蒲生の気迫、松井の意欲的攻撃、山口の成長など見るべき材料あったが、体格差からくるものか、依然として、攻めが単調になると好守のリズムが一気に崩れるという大きな問題点が克服されていないように思われた。

　一方のルーマニアでは、スティンガがこの試合11得点と大活躍、後半10分過ぎからは豪快なロングシュートを連発し、大会No.1との呼び声を裏付けた。（佐藤和孝）

## 日本―アルジェリア
## 日本待望の勝利

日本 17（11-7、6-9）16 アルジェリア

　予選リーグ最終戦、全敗同士で来た日本とアルジェリアであった。日本はルーマニア戦で負傷した井藤を欠いてのスタートである。

　ゲームは、開始早々高村がカットインから決めて好調なスタートを切った。7分に速攻から蒲生、9分に同じく速攻から池ノ上、11分にはサイドブロックから山本、続いてサイドから松井、速攻で生駒と連続得点し、13分過ぎには6-1とした。その後も松井、蒲生などで23分には10-4とリードした。そして10-5となった後、アルジェリアはプレスディフェンスに出て来た。日本は大畑がセンターまで出てボールをつなぐなどしてこの場をしのいだ。アルジェリアの速い動きにはろうさせられたか、この後前半終了まで1点におさえこまれた。

　一方、アルジェリアもスカイプレーなどを試みたが、ミスが多く2点にとどまった。11-7で前半が終了した。

　後半に入り、日本は5分に中本

が西山のシュートのリバウンドを決めたが、15分間はこの1点にとどまった。アルジェリアは開始早々サイドから、5分過ぎにはペナルティースロー、7分にはポストから決め、ジリジリと追いついて来た。

この間大畑の好守が3本続いたが、10分にはポストから決められ12-12の同点となった。14分にはミドルシュートで12-13と逆転された。しかし、日本はここから山本が3連続得点で頑張った。16分に再び同点シュート、19分に小気味のよいステップからのフェイントシュートでブラインドをつき逆転、続いて押されながらもディフェンスを割って15-13。

ここでまたもアルジェリアはプレスディフェンスに出て来たが、松井がかいくぐって加点。この後ペナルティースローで1点返されたが、残り1分30秒、蒲生が体でせってディフェンスを割り17-15とした。残り20秒、アルジェリアもシュートを決めたが、日本の勝利で試合終了となった。

（村松　誠）

## 日本―アメリカ 粘り及ばず10位

日本16（5-9 / 11-15）26アメリカ

熱戦を繰り広げたオリンピックゲームも、日本はこの試合で全部終了である。順位決定、9、10位戦にもかかわらず会場は満員である。両国選手紹介の後に最後のホイッスルは鳴った。日本は大畑、生駒、中本、西山、高村、蒲生、池ノ上、そして、攻撃オンリーの主将山本と、いつものスターティングメンバーである。

アメリカのスタートは良く、ミドル、右サイドからと連取して早くも2点リード。これに対して日本は闘志満々の生駒のロング、続いて蒲生のミドルと連打するが、いずれもかわされる。ようやく5分50秒、池ノ上のミドルが、6分20秒にはこの大会好調を続ける高村のロングが炸裂して同点に並ぶ。

しかし、日本はその後、米国の高い守備陣に苦しみ、山本の苦心のミドルや高村などのロングシュートを完全にブロックされ得点にならない。逆に米国は、日本的な攻撃法でサイド、ポストを巧みに使って10分過ぎには4対2とリードする。代った松井は、例の水澄しのような早い動きから鮮かに跳び込んでPTをとり、これを佐々木が確実に決めるが、その後速攻のミス、さらにセット・オフェンスにちぐはぐな攻撃が目立って、どうしても調子の波に乗れないまま前半を5対9で折り返す。

後半開始2分過ぎ、高村のロングが決まり、つづいて池ノ上からポストに入った高村にパスが回りPT、これを山本が決めて7点目、米のラインクロスを巧く速攻に繋いでこれを生駒が決めるなど調子を掴むかに見えたが、アメリカはロングなどで簡単に得点し、依然セイフティリードは続いた。

残り8分、日本はオールコート・プレスをかけ逆転を狙うが、アメリカはGKをオフェンスに加えて見事にノーマークを創るなど、合理的に得点を重ねた。それでも日本は最後の最後まで粘り、ポストプレーやスカイプレーを試みて応戦したが及ばず、残念ながらとうとう力尽きた。アジア予選からここまで長期間にわたり良く頑張ってくれた。御苦労さま日本チーム。

（川上整司）

## ■決勝戦■ユーゴ粘る西ドイツを突き放す

ユーゴ18（8-7 / 10-10）17西ドイツ

世界の強豪の不参加もあって、やや迫力にかけるのではないかと予想されたオリンピックだったが、いざ幕を開くとそんな心配もどこえやら、連日壮絶な戦いが展開された。そして今、金メダルを争ってユーゴとハンド王国の西ドイツが対戦する。一方六千人収容出来るというこのマンモス体育館もほぼ満員と日本では考えられない観衆である。

スタート前から西ドイツ、ユーゴの応援合戦は既に開始され、館内はくっきりと浮き出たグリーンのコート、そしてライトの観客席とコートを分けた光、観衆のスポーツを楽しむオーバーな表現、全て効果満点である。さすがに他の競技でビッグゲームをこなして来たアメリカならではの演出である。実に素晴らしい。また、予選リーグとは違った雰囲気の中でホイッスルは吹かれた。

試合は攻撃力多彩なユーゴと見事なパスワークを持つ西ドイツ、立ち上がりは互いに牽制し合いながら1点ずつの取り合いで開始された。予想通りユーゴが先行し、ポストとサイドそしてイサコビッチのロングなどで残り8分頃には6対3と大きくリードした。しかしその後、西ドイツも豪快にミドルを、そして5分40秒には巧みに右サイドから決めて1点差と詰め寄る。そこでユーゴは突き離そうと必死に頑張り、イサコビッチがPT決める。その直後、西ドイツも右45度からサイドへとチャンスをつくりフラックスが跳び込んでまた1点差、続いて1分5秒、右サイドから得点し、ようやく追いついた。

さて残り時間1分を切って、ユーゴのラインクロスから西ドイツ速攻に移る。それをまた見事にユーゴがインターセプトし、そのまま跳び込んでPT。これを丁寧に決め8対7として、あっという間に前半を終了。終了を告げるブザーの音は全く分らなかった。

後半に入り、ユーゴはゆっくりとボールを回しポストを狙うが失敗。西ドイツはその後、PTを取り、これを手堅く決めて8対8の同点となる。やや焦るユーゴは、ここでロングシュートを見せて、左サイドへと回し、倒れ込みを試み、これがPTとなったが失敗。その後も激しい攻防は続くが、両国とも得点にはならず8対8は少しの間続いた。

ようやくユーゴが先手を打ち、速攻でゲットしリード、またも速攻で連取して2点とユーゴが突き離しにかかるかに見えたが、西ドイツはロール・フラックスがまたもポストで決め1点差、その後も左サイドから決めて同点と3度並ぶ。残り15分20秒、ユーゴは強烈なロングを決めまたまた先行、しかし西ドイツもシセールバウルがロングを決めて4度並ぶ。残り14分10秒、ユーゴがミドルで決めれば、西ドイツは12分50秒にフリースローで返す。5度目の同点と激戦は続く。試合は常にユーゴ有利の展開で進んではいるが、得点上は全く互角で行方が分からなくなる。

残り10分、14対13でユーゴリードで進み、このあたりから静かな戦いが続く。しかし、この均衡を破ることが金へのアプローチになるだろう。その4分5秒、ユーゴはイサコビッチが決め17対15、その直後もカリーナがポストで決めて3点差と逃げ切りにかかり勝負あった感がした。だが、奮闘する西ドイツもPTでゲット、さらにはロングシュートで1点差に詰め寄るが、残り20秒、ユーゴの勝利は決定した。

7月31日から始まったロングランの幕は下りた。西ドイツは追いつきはしたがどうしても先行することが出来ず、ユーゴの実力の前には如何ともしがたい壁があった。ユーゴはミュンヘンから2度目の優勝である。



# ロサンゼルスオリンピック全成績 7月31日～8月13日

## 男子ユーゴ2度目の"金"

○予選リーグA組

▼第1日（7月31日）

ユーゴ 22（14－10 8－12）22 アイスランド

スイス 20（13－7 7－6）13 日本

ルーマニア 25（14－9 11－7）16 アルジェリア

▼第2日（8月2日）

ユーゴ 32（18－7 14－8）15 日本

ルーマニア 26（10－6 16－11）17 アイスランド

スイス 19（9－8 10－10）18 アルジェリア

▼第3日（8月4日）

ユーゴ 25（12－7 13－3）10 アルジェリア

アイスランド 21（12－8 9－9）17 日本

ルーマニア 23（10－8 13－9）17 スイス

▼第4日（8月6日）

ユーゴ 25（13－5 12－6）11 スイス

ルーマニア 28（16－11 12－11）22 日本

アイスランド 19（12－8 7－7）15 アルジェリア

▼第5日（8月8日）

ユーゴ 19（8－10 11－8）18 ルーマニア

アイスランド 23（14－8 9－8）16 スイス

日本 17（6－9 11－7）16 アルジェリア

（順位）①ユーゴ（4勝1分）②ルーマニア（4勝1敗）③アイスランド（3勝1分1敗）④スイス（2勝3敗）⑤日本（1勝4敗）⑥アルジェリア（5敗）

○予選リーグB組

▼第1日（7月31日）

西ドイツ 21（9－11 12－8）19 アメリカ

スウェーデン 36（20－12 16－11）23 韓国

デンマーク 21（15－8 6－8）16 スペイン

▼第2日（8月2日）

西ドイツ 18（11－7 7－9）16 スペイン

デンマーク 31（14－14 17－14）28 韓国

スウェーデン 21（11－12 10－6）18 アメリカ

▼第3日（8月4日）

西ドイツ 18（7－10 11－7）17 スウェーデン

スペイン 31（19－14 12－11）25 韓国

デンマーク 19（11－9 8－7）16 アメリカ

▼第4日（8月6日）

西ドイツ 37（19－14 18－11）25 韓国

デンマーク 26（15－10 11－9）19 スウェーデン

スペイン 17（7－7 10－9）16 アメリカ

▼第5日（8月8日）

西ドイツ 20（11－9 9－9）18 デンマーク

スウェーデン 26（10－12 16－13）25 スペイン

アメリカ 22（9－10 13－12）22 韓国

（順位）①西ドイツ（5勝）②デンマーク（4勝1敗）③スウェーデン（3勝2敗）④スペイン（2勝3敗）⑤アメリカ（1分4敗・得失点差マイナス9）⑥韓国（1分4敗・得失点差マイナス34）

○順位決定戦

| 得 | （ユーゴ） | | （西ドイツ） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | バシッチ | GK | ティール | 0 |
| 0 | アルナウトビッチ | GK | ヴォーラー | 0 |
| 0 | ルニッチ | FP | メフレ | 0 |
| 2 | ブコビッチ | FP | ネイツェル | 0 |
| 4 | カリナ | FP | シュワルブ | 0 |
| 3 | エレゾビッチ | FP | ラウイン | 0 |
| 0 | ゾフコ | FP | パウル | 4 |
| 0 | ユリナ | FP | ハッペ | 0 |
| 2 | ブヨビッチ | FP | ヴンダーリッヒ | 3 |
| 1 | グズマノフスキー | FP | スプリンゲル | 2 |
| 0 | ラジェノビッチ | FP | フラッツ | 7 |
| 6 | イサコビッチ | FP | U・ロス | 1 |
| 18 | (6) | PT | (4) | 17 |

▼11、12位決定戦（8月10日）
韓国25（15−12、10−9）21アルジェリア

▼9、10位決定戦（8月10日）
アメリカ24（15−11、9−5）16日本

▼7、8位決定戦（8月10日）
スイス18（9−8、9−9）17スペイン

▼5、6位決定戦（8月10日）
スウェーデン26（12−14、14−9）23アイスランド

▼3位決定戦（8月11日）
ルーマニア23（8−9、15−10）19デンマーク

▼決勝
ユーゴ18（10−10、8−7）17西ドイツ

## 予選リーグA組

| 順位 | | ユーゴ | ルーマニア | アイスランド | スイス | 日本 | アルジェリア |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ユーゴ | | ○ 19−18 | △ 22−22 | ○ 25−11 | ○ 32−15 | ○ 25−10 |
| ② | ルーマニア | ● 18−19 | | ○ 26−17 | ○ 23−17 | ○ 28−22 | ○ 25−16 |
| ③ | アイスランド | △ 22−22 | ● 17−26 | | ○ 23−16 | ○ 21−17 | ○ 19−15 |
| ④ | スイス | ● 11−25 | ● 17−23 | ● 16−23 | | ○ 20−13 | ○ 19−13 |
| ⑤ | 日本 | ● 15−32 | ● 22−28 | ● 17−21 | ● 13−20 | | ○ 17−16 |
| ⑥ | アルジェリア | ● 10−25 | ● 16−25 | ● 15−19 | ● 13−19 | ● 16−17 | |

## 予選リーグB組

| 順位 | | 西ドイツ | デンマーク | スウェーデン | スペイン | アメリカ | 韓国 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 西ドイツ | | ○ 20−18 | ○ 18−17 | ○ 18−16 | ○ 21−19 | ○ 37−25 |
| ② | デンマーク | ● 18−20 | | ○ 26−19 | ○ 21−16 | ○ 19−16 | ○ 31−28 |
| ③ | スウェーデン | ● 17−18 | ● 19−26 | | ○ 26−25 | ○ 21−18 | ○ 36−23 |
| ④ | スペイン | ● 16−18 | ● 25−26 | ● 16−21 | | ○ 17−16 | ○ 31−25 |
| ⑤ | アメリカ | ● 19−21 | ● 16−19 | ● 18−21 | ● 16−17 | | △ 22−22 |
| ⑥ | 韓国 | ● 25−37 | ● 28−31 | ● 23−36 | ● 25−31 | △ 22−22 | |

## ロス五輪日本選手団成績

| | | スイス | ユーゴ | アイスランド | ルーマニア | アルジェリア | アメリカ | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| GK | 大畑 | 0 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 |
| GK | 井藤 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | 0 |
| GK | 上村 | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 |
| FP | 山本 | 2 | 4 | 7 | 5 | 4 | 4 | 26 |
| FP | 蒲生 | 3 | 2 | 2 | 5 | 4 | 2 | 18 |
| FP | 中本 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| FP | 関 | — | 1 | — | — | 0 | — | 1 |
| FP | 生駒 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| FP | 池ノ上 | 1 | 3 | 3 | 1 | 2 | 1 | 11 |
| FP | 佐々木 | — | — | — | 0 | — | 1 | 1 |
| FP | 志賀 | 0 | — | 0 | — | — | — | 0 |
| FP | 松井 | 2 | 1 | 2 | 5 | 4 | 1 | 15 |
| FP | 西山 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| FP | 高村 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 4 | 9 |
| FP | 田口 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 1 | 6 |
| | 計 | 13 | 15 | 17 | 22 | 17 | 16 | 100 |



## 女子ユーゴ圧倒的な強味で全勝

○リーグ戦

▼第1日（8月1日）

ユーゴ 20（9－7 11－12）19 西ドイツ

アメリカ 25（16－10 9－12）22 中国

韓国 23（12－7 11－15）22 オーストリア

▼第2日（8月3日）

ユーゴ 30（15－7 15－8）15 オーストリア

中国 20（9－12 11－7）19 西ドイツ

韓国 29（13－16 16－11）27 アメリカ

▼第3日（8月5日）

ユーゴ 33（19－10 14－10）20 アメリカ

西ドイツ 18（11－12 7－5）17 オーストリア

韓国 24（10－14 14－10）24 中国

▼第4日（8月7日）

ユーゴ 29（14－9 15－14）23 韓国

西ドイツ 18（8－10 10－7）17 アメリカ

中国 21（11－9 10－7）16 オーストリア

▼第5日（8月9日）

ユーゴ 31（16－10 15－15）25 中国

韓国 26（17－7 9－10）17 西ドイツ

アメリカ 25（14－12 11－9）21 オーストリア

〔順位〕①ユーゴ（5勝）②韓国（3勝1分1敗）③中国（2勝1分2敗）④西ドイツ（2勝3敗）⑤アメリカ（2勝3敗）⑥オーストリア（5敗）

（注）4、5位は、オーストリアを除外した得失点差で決定。

# 第35回インターハイ



## 男子 浦和実・感激の初優勝
## 女子 熊本市立 24年ぶりの復活

昭和59年度全国高校総体・第35回全日本高校ハンドボール選手権大会は、8月1日から7日まで秋田県湯沢市で開催された。

真夏の激しい暑さの中で高校生が力の限りを尽すこの大会、男子は、2連覇を目ざす久留米工大附属（福岡）を浦和実（埼玉）が、エース新井が13得点をあげる大活躍を見せて下し、嬉しい初優勝を飾った。

一方女子は、第2シードの山陽女子（岡山）が初戦の2回戦で、また、第1シードの小松市女（石川）が2戦目の3回戦で敗退するという波乱の展開。こうした中から、山陽女子を下した熊本市立(熊本)、小松市女を破った昭和学院(千葉)が決勝に進出した。熊本市立は、前半リードされたものの後半に入って逆転、実に24年ぶり3度目の優勝という復活を遂げた。

（写真提供：ハンドボールマガジン）

### 男子

▽1回戦

野辺地（青森） 24（12－9、12－12）21 富士（静岡）

○…立ち上がり両校とも速攻ミスが目立ち、前半5分過ぎに野辺地・駒ヶ嶺のポストシュートでようやく先制。富士の荒いディフェンスが目立つ。野辺地は大矢のロングシュートなどで追加点をあげ、富士も杉林の回り込みなどで得点するが12－9と野辺地の3点リードで前半終了。

後半野辺地は単調な攻めで残り10分、富士19－19の同点に追いつく。しかし、その後をシーソーゲームを野辺地は大矢、高野、鎌本の3連続得点で追き離し逃げ切った。

| 得 | （野辺地） | | （富士） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 村山 | GK | 井出 | 0 |
| 0 | 松山 | GK | 酒井 | 0 |
| 2 | 工藤 | FP | 澤山 | 0 |
| 5 | 駒ヶ嶺 | FP | 岡村 | 0 |
| 8 | 大矢 | FP | 長谷川 | 2 |
| 2 | 西野 | FP | 大石 | 4 |
| 1 | 島谷 | FP | 斎藤 | 1 |
| 6 | 鎌本 | FP | 佐野 | 1 |
| 0 | 金見 | 審（三枝・大塚） | 増田 | 6 |
| 0 | 田中 | | 大草 | 2 |
| 0 | 高田 | | 杉林 | 5 |
| 0 | 森 | | 鈴木 | 0 |
| 24 | (2) | PT | (2) | 21 |

明星（東京） 32（16－3、16－7）10 高知追手前（高知）

○…追手前のスローオフで始まるも、明星のディフェンスは固く追手前はなかなか得点が入らない。一方明星は、速攻、セットから着着点を重ね、前半で一方的なゲームとなった。

| 得 | （明星） | | （追手前） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 宮川 | GK | 森光 | 0 |
| 0 | 伊藤 | GK | 小川 | 0 |
| 3 | 浜川 | FP | 大坪 | 0 |
| 9 | 滝瀬 | FP | 山脇 | 4 |
| 1 | 矢ヶ崎 | FP | 西川 | 2 |
| 1 | 佐藤 | FP | 宮崎雄 | 0 |
| 6 | 富所 | FP | 北岡 | 0 |
| 2 | 松本 | 審（北井・上久保） | 友草 | 0 |
| 2 | 政 | | 岸本 | 3 |
| 5 | 唐川 | | 中山 | 1 |
| 1 | 石井 | | 宮崎光 | 0 |
| 2 | 鈴木 | | 下村 | 0 |
| 32 | (2) | PT | (1) | 10 |

西宮東（兵庫） 19（10－7、9－5）12 函館有斗（北海道）

| 得 | （西宮東） | | （函館） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 大西 | GK | 小野 | 0 |
| 0 | 宮内 | GK | 野村 | 0 |
| 0 | 中河 | FP | 近 | 0 |
| 6 | 田中 | FP | 清水 | 1 |
| 2 | 永谷 | FP | 鳥潟 | 1 |
| 2 | 安島 | FP | 道下 | 2 |
| 2 | 中条 | FP | 小野寺 | 7 |
| 2 | 木岡 | 審（清水・岡本） | 三上 | 1 |
| 1 | 綿貫 | | 柏馬 | 0 |
| 1 | 柳 | | 富樫 | 0 |
| 0 | 岡田 | | 高橋 | 0 |
| 3 | 桜井 | | 神 | 0 |
| 19 | (3) | PT | (1) | 12 |

○…前半は西宮の走りが勝り得点を重ねたのに対して函館はシュ

ートが単発で、点差が一時は5点と開いた。しかし、中ごろから西宮の走りも止まり、函館の速攻などでシーソーゲームになり3点差で終った。

後半も同じような展開で、両チームとも暑さのため動きが悪くなり、そのまま西宮が押し切った。

**大分電波 31（16－9 15－6）15 古川工**
（大分）（宮城）

| 得 | （電波） | | （古川工） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 藤内 | GK | 武田 | 0 |
| 0 | 柴田 | GK | 氏家 | 0 |
| 5 | 甲斐 | FP | 大和田 | 8 |
| 4 | 後藤 | FP | 門脇 | 4 |
| 1 | 小松 | FP | 太田 | 0 |
| 0 | 海江田 | FP | 今野 | 0 |
| 2 | 佐藤 | FP | 菅原 | 1 |
| 6 | 吉田 | FP | 内田 | 1 |
| 1 | 前川 | FP | 佐々木茂 | 1 |
| 7 | 朝来 | FP | 佐々木義 | 0 |
| 4 | 源内 | FP | 本田 | 0 |
| 1 | 篠田 | FP | 小野寺 | 0 |
| 31 | (2) | PT | (2) | 15 |

審（千野・斉藤）

○…古川工のセットの崩れから大分・後藤の速攻で先取点。その後古川工・大和田の得点で同点とした。

大分・朝来、佐藤、吉田のカットイン、古川工・菅原、大和田のロングシュートで15分には8－5、その後古川工のパスミス、キュッチミスなどから速攻で13－5と大分ペース。

結局16－9と大分がリードして前半を終了。

後半、両チームセットプレーから得点して開始。しかし、再び古川工のミスから大分が速攻を決め、結局終始大分ペースで思わぬ大差となった。

**氷見 27（15－4 12－9）13 国学院栃木**
（富山）（栃木）

| 得 | （氷見） | | （国学院） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 高橋 | GK | 石田 | 0 |
| 0 | 山田 | GK | 伊藤 | 0 |
| 3 | 瀬戸 | FP | 塚田 | 1 |
| 3 | 徳前 | FP | 富成 | 0 |
| 6 | 岩上 | FP | 篠崎 | 3 |
| 1 | 山本 | FP | 横川 | 4 |
| 8 | 春木 | FP | 山村 | 2 |
| 4 | 森 | FP | 野口 | 1 |
| 0 | 大江 | FP | 渡辺 | 0 |
| 1 | 川渕 | FP | 設楽 | 1 |
| 0 | 安田 | FP | 野沢 | 1 |
| 1 | 谷野 | FP | 杉江 | 0 |
| 27 | (1) | PT | (2) | 13 |

審（九田・井川）

○…ジュニアナショナルのGK高橋を擁する氷見対国学院栃木の一戦は、立ち上がり氷見がエリア前をフェイントからパスをつなぎ目まぐるしく攻めるが、国学院GKの好捕で互角。国学院も粘り強くボールを回しシュートに結びつけるが、氷見GK長身のために少しずつボールが外にずれシュートが決まらない。内側を狙ったシュートはGKキャッチで10分ごろより氷見が速攻で連続ゲット、ペースをつかむ。その後マイボールになるととび出す氷見と遅攻で攻める国学院の差が出て氷見が快勝。

**羽後 23（13－11 10－8）19 泉ヶ丘**
（秋田）（宮崎）

○…開始早々羽後先手をとるも泉ヶ丘も相手ミスにつけ込んで追いすがり、一進一退で前半13－11で羽後リード。

両チームとも防御がやや淡白で、後半に入っても羽後は堅実に主導権を握りながら追いすがる泉ヶ丘を突き離した。

| 得 | （羽後） | | （泉ヶ丘） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 斉藤 | GK | 砂田 | 0 |
| 0 | 橋本 | GK | 海江田 | 0 |
| 7 | 有原渡 | FP | 阪上 | 1 |
| 0 | 村上 | FP | 川畑 | 0 |
| 4 | 有原磐 | FP | 川野 | 0 |
| 2 | 佐藤 | FP | 山田 | 1 |
| 3 | 菅野 | FP | 黒木 | 8 |
| 5 | 菅 | FP | 畑中 | 4 |
| 2 | 小野 | FP | 財部 | 3 |
| 0 | 高橋 | FP | 興梠 | 1 |
| 0 | 伊藤 | FP | 滝上 | 0 |
| 0 | 大久保 | FP | 有村 | 1 |
| 23 | (0) | PT | (0) | 19 |

審（矢澤・横瀬）

**北陸 36（19－9 17－11）20 川本羽須美**
（福井）（島根）

| 得 | （北陸） | | （川本） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 城地 | GK | 松山 | 0 |
| 0 | 竹沢 | GK | 三上耕 | 0 |
| 11 | 大久保 | FP | 日高 | 3 |
| 7 | 沢崎 | FP | 大原 | 1 |
| 2 | 竹山 | FP | 中野 | 3 |
| 2 | 福村 | FP | 高橋 | 2 |
| 3 | 川上 | FP | 長島 | 0 |
| 0 | 小野田 | FP | 岡崎 | 2 |
| 1 | 宮川 | FP | 高瀬 | 0 |
| 4 | 斉藤 | FP | 長尾 | 1 |
| 2 | 松田 | FP | 原本 | 8 |
| 4 | 増田 | FP | 三上洋 | 0 |
| 36 | (0) | PT | (4) | 20 |

審（半田・菅野）

○…両チーム合わせて56得点という乱打戦となった。8強の一角を狙う北陸は、さすがに大型チームらしくロングシュートに見るべきものがあった。島根も小粒ながら持ち前の粘りを発揮し、速攻、サイドで食い下がったが、結局地力の差は越えられなかった。

更に上位を目ざすには、北陸のディフェンスは反省材料が残ったといえる。

**市川 29（12－8 17－9）17 那賀**
（千葉）（和歌山）

○…前半立ち上がり、市川は細かいパスプレーがミスにつながりリードを許したが、中盤からパスがつながり出し逆転した。後半立ち上がりも市川のパスが乱れ、那賀がポストプレーなどで3連続得点し、1点差まで詰め寄ったが、中盤から市川の細かいパスプレーが効果的に決まりだし、ポストプレー、サイドプレー、スタンディングシュートと多彩なプレーを持つ市川が大勝した。

| 得 | （市川） | | （那賀） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 芳賀 | GK | 寺本 | 0 |
| 0 | 早乙女 | GK | 谷沢 | 0 |
| 5 | 立元 | FP | 西本 | 0 |
| 6 | 川鍋 | FP | 小守 | 3 |
| 0 | 野沢 | FP | 岩崎 | 2 |
| 0 | 小池 | FP | 武田 | 0 |
| 8 | 矢吹 | FP | 飛渡 | 1 |
| 0 | 高橋 | FP | 上野年 | 0 |
| 6 | 湯浅 | FP | 平松 | 6 |
| 2 | 野口 | FP | 上野昌 | 5 |
| 0 | 宮川 | FP | 倉沢 | 0 |
| 2 | 尾沼 | FP | 浜野 | 0 |
| 29 | (1) | PT | (0) | 17 |

審（光安・田嶋）

**添上 24（11－10 13－7）17 鹿児島工**
（奈良）（鹿児島）

| 得 | （添上） | | （鹿工） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 田澤 | GK | 野元 | 0 |
| 0 | 石原 | GK | 溜池 | 0 |
| 3 | 森本 | FP | 南部 | 4 |
| 5 | 橋本 | FP | 笹平 | 3 |
| 4 | 福西 | FP | 原口 | 2 |
| 2 | 藤本 | FP | 小山原 | 0 |
| 3 | 乾 | FP | 上入佐 | 0 |
| 6 | 中盛 | FP | 有村 | 0 |
| 1 | 吉迫 | FP | 富谷 | 4 |
| 0 | 岩本 | FP | 山口 | 1 |
| 0 | 山中 | FP | 西ノ園 | 2 |
| 0 | 阪本 | FP | 米森 | 1 |
| 24 | (1) | PT | (1) | 17 |

審（三枝・大塚）

○…前半10分まで鹿児島工がセット攻撃でミドルシュートを決めリードする。添上は9分過ぎまで攻撃の歯車が合わず得点が入らなかったが、ポスト攻撃で得点を入れると、その後サイド、スカイプレ

ー、速攻と点を重ね逆に1点リードで前半終了。
後半も添上はセットからサイド攻撃、相手パスミスから速攻で着実に得点を重ねる。一方、鹿児島工はサイド攻撃、セット攻撃で点を入れるが、セット攻撃からのパスの動きが遅く、添上にカットされて速攻され逃げ切られた。

中　京（愛知）21（9−6 12−10）16 学法石川（福島）

| | (学法) | 得 | (中京) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 浜尾 | 0 | 水谷 | 0 |
| GK | 三宅 | 0 | 西井 | 0 |
| FP | 木戸 | 1 | 久保田 | 5 |
| FP | 遠藤 | 4 | 小島 | 0 |
| FP | 石塚 | 0 | 横井 | 0 |
| FP | 有賀 | 0 | 大橋 | 8 |
| FP | 荒川 | 4 | 大沢 | 3 |
| FP | 秋葉 | 1 | 三輪 | 1 |
| FP | 内田 | 3 | 渡部 | 1 |
| FP | 大河内 | 0 | 島尻 | 3 |
| FP | 石川 | 2 | 中野 | 0 |
| FP | 佐野 | 1 | 堀田 | 0 |
| 審 | （北井　上久保） | | | |
| PT | (4) | 16 | (2) | 21 |

○…前半中京の雑なシュートで得点が少なかったが、GKの巧守により3点のリードで終了。後半になり、学法石川がチャンスを生かし追い上げリズムに乗るかに思われたが、残り10分を切るころより中京の走りが勝り、勝敗を決した。

総　社（岡山）33（18−6 15−2）8 柏　崎（新潟）

○…前半総社の中塚、小野を中心にした早い動きとパスワークに柏崎は防戦に神経を使い、攻撃の動きも悪く、点差は開くばかりだった。後半になっても総社の速攻は続き、柏崎は攻撃もちぐはぐになり、パスを回すだけでストーリングが多くなり、総社の一方的な試合になってしまった。

| | (柏崎) | 得 | (総社) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 中村 | 0 | 須田 | 0 |
| GK | 松崎 | 0 | 福武 | 0 |
| FP | 須田 | 3 | 中塚 | 11 |
| FP | 泉 | 1 | 小野 | 7 |
| FP | 間嶋 | 1 | 長代 | 0 |
| FP | 星野 | 0 | 花水 | 3 |
| FP | 春日 | 1 | 浅沼 | 6 |
| FP | 田辺 | 0 | 石原 | 1 |
| FP | 若林 | 1 | 東 | 2 |
| FP | 種岡 | 1 | 大森 | 2 |
| FP | 中野 | 0 | 山本 | 0 |
| FP | 仲野 | 0 | 竹内 | 1 |
| 審 | （清水　岡本） | | | |
| PT | (0) | 8 | (5) | 33 |

新居浜工（愛媛）29（15−8 14−8）16 水海道一（茨城）

| | (水一) | 得 | (新工) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 杉田 | 0 | 南 | 0 |
| GK | 木村 | 0 | 山口 | 0 |
| FP | 瀬尾 | 0 | 鈴木 | 3 |
| FP | 吉川 | 10 | 藤田 | 2 |
| FP | 長瀬 | 2 | 長嶺 | 6 |
| FP | 入江 | 0 | 高石 | 0 |
| FP | 海老原 | 0 | 神野 | 0 |
| FP | 渡辺 | 2 | 白石 | 8 |
| FP | 瀬川 | 2 | 小野 | 7 |
| FP | 倉持 | 0 | 佐藤 | 3 |
| FP | 鈴木 | 0 | 西原 | 0 |
| FP | 丹野 | 0 | 萬屋 | 0 |
| 審 | （光安　田嶋） | | | |
| PT | (0) | 16 | (3) | 29 |

○…始めて10分、互いの攻守は走りのあるパスプレーで見応えがあったが、単独の力がシュートに結びつかず、また、シュートミスをくり返し苦しむ水海道一に対しディフェンスを確実にし、走りで押しまくる新居浜工。点差はミスの多さにも比例し、水海道に攻撃前の凡ミスは惜しまれる。

九州学院（熊本）24（10−5 14−7）12 大垣農（岐阜）

○…大垣のGK森の巧守でスタートしたものの野村の不調とシュートミスが多く、九州学院の佐藤、野中、谷口の高いブロックに阻まれては速攻を許してしまった。一方、九州学院は佐藤を中心にロング、ミドル、ポストとまとまりある攻撃で大垣を一枚上回っていた。

| | (大垣農) | 得 | (九学) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 伊藤 | 0 | 林田 | 0 |
| GK | 森 | 0 | 長谷川 | 0 |
| FP | 戸田 | 0 | 佐藤和 | 7 |
| FP | 浅野 | 1 | 大野 | 5 |
| FP | 松岡 | 0 | 水田 | 3 |
| FP | 近藤 | 1 | 野中 | 3 |
| FP | 野村 | 3 | 三浦 | 0 |
| FP | 金森 | 1 | 田中 | 0 |
| FP | 河合 | 3 | 谷口 | 4 |
| FP | 菱田 | 1 | 牧野 | 2 |
| FP | 鈴木 | 2 | 栗山 | 0 |
| FP | | | 佐藤一 | 0 |
| 審 | （九山　井川） | | | |
| PT | (2) | 12 | (1) | 24 |

湯　沢（秋田）23（12−7 11−9）16 富　岡（群馬）

| | (富岡) | 得 | (湯沢) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 斉藤正 | 0 | 市川 | 0 |
| GK | 黒沢 | 0 | 菅原 | 0 |
| FP | 土屋 | 0 | 松田 | 2 |
| FP | 浅香 | 5 | 佐藤正 | 7 |
| FP | 松原 | 1 | 斉藤 | 0 |
| FP | 金井 | 1 | 赤平 | 5 |
| FP | 東崎 | 0 | 柴田 | 2 |
| FP | 井森 | 0 | 佐藤明 | 3 |
| FP | 今泉 | 3 | 最上 | 4 |
| FP | 加藤 | 6 | 和賀 | 0 |
| FP | 小金沢 | 0 | 渡辺 | 0 |
| FP | 斉藤隆 | 0 | 庫山 | 0 |
| 審 | （矢澤　横瀬） | | | |
| PT | (2) | 16 | (0) | 23 |

○…小柄ながらシャープに動きをつなぐ富岡に対し、地元湯沢はファイトにあふれ、力強いパスワークでゲームを主導し、前半をリード。後半中盤より速攻の応酬から徐々に湯沢はリードを広げ快勝した。

日　川（山梨）27（12−7 15−9）16 盛岡一（岩手）

| | (盛一) | 得 | (日川) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 小原 | 0 | 辻 | 0 |
| GK | 篠山 | 0 | 大森 | 0 |
| FP | 堀米 | 1 | 槙原 | 1 |
| FP | 藤沢 | 3 | 小池 | 4 |
| FP | 赤間 | 7 | 本間 | 8 |
| FP | 吉田 | 1 | 矢崎 | 1 |
| FP | 千葉 | 2 | 窪田 | 0 |
| FP | 菅原 | 2 | 堀 | 5 |
| FP | 上杉 | 0 | 石原 | 0 |
| FP | 日下 | 0 | 戸泉 | 2 |
| FP | 斉藤 | 0 | 平山 | 3 |
| FP | 小松 | 0 | 大村 | 3 |
| 審 | （菅野　半田） | | | |
| PT | (2) | 16 | (2) | 27 |

○…前半立ち上がり両チームとも攻撃に固さが見られ、盛岡一は日川の速いディフェンスの詰めに攻めあぐみ、シュートがやや強引であった。前半12−7で終った。後半10分過ぎまでは全く前半の逆になり、2点差まで詰めより、盛岡一が日川に追いつくかと思われたが、12分ごろからストーリング、パスカットなどスタミナ切れのためか単調なパスがつづき、流れは日川に変わりそのまま逃げ切った。

神埼農（佐賀）28（12−9 16−8）17 池　田（徳島）

| | (池田) | 得 | (神埼農) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 吉田 | 0 | 小林 | 0 |
| GK | | | 佐藤覚 | 0 |
| FP | 前田 | 2 | 志岐 | 3 |
| FP | 西内 | 0 | 柿永 | 10 |
| FP | 高井 | 8 | 千住 | 0 |
| FP | 千葉 | 1 | 原田 | 7 |
| FP | 古本 | 0 | 浜野 | 2 |
| FP | 三木 | 5 | 古賀 | 2 |
| FP | 堀江 | 1 | 増田 | 4 |
| FP | 久保 | 0 | 巾川 | 0 |
| FP | | | 香月 | 0 |
| FP | | | 小柳 | 0 |
| 審 | （藤原　高山） | | | |
| PT | (0) | 17 | (4) | 28 |

○…池田、神埼農ともに似通ったチームで、お互いにシュートが雑であったが、神埼農は柿沢、原田を中心にポストプレー、速攻などで得点、一方、池田も高井、三木などのミドルシュート、ポストプレーで迫ったが、後半に入って神埼農はGK小林の好守からの速攻で加点した。池田はよくシュートを打つのだが、相手のディフェンスとGK小林の好プレーに阻まれた。

▽2回戦

久工大附（福岡）33（16−6 17−6）12 野辺地

| | (野辺地) | 得 | (久工附) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 村山 | 0 | 井上 | 0 |
| GK | 松山 | 0 | 坂本 | 0 |
| FP | 工藤 | 1 | 田中 | 5 |
| FP | 駒ヶ嶺 | 3 | 甲斐 | 6 |
| FP | 大矢 | 2 | 松尾 | 1 |
| FP | 西野 | 1 | 小池 | 3 |
| FP | 島谷 | 2 | 村田 | 7 |
| FP | 鎌本 | 3 | 石丸 | 1 |
| FP | 野田頭 | 0 | 大坪 | 3 |
| FP | 田中 | 0 | 誉田 | 2 |
| FP | 小川 | 0 | 山口 | 0 |
| FP | 森 | 0 | 竹内 | 5 |
| 審 | （千野　斉藤） | | | |
| PT | (1) | 12 | (0) | 33 |

○…立ち上がりから久工大附の安定した力と村田の強力なシュートと早いパス展開に野辺地はあせんとし、久工大附の厚いディフェンスに阻れ、野辺地の攻撃に迷いが見られた。後半も久工大附の速攻が目立ち追いすがる野辺地を寄せつけず終了した。

明　星 16（9−3 7−8）11 境（鳥取）

○…3分境・増馬のロングで先制するも明星・富所のカットインで同点。その後明星早いパスワークと速攻で加点、9−3で前半を終了。後半立ち上がり境3点を加え反撃に移るも明星もすぐ返し、その差はなかなか縮らず試合終了し

た。

| 得 | （境） | | （明星） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 野村 | GK | 宮田 | 0 |
| 0 | 菅沢 | GK | 伊藤 | 0 |
| 1 | 角祐 | FP | 浜川 | 6 |
| 2 | 松本 | FP | 滝瀬 | 3 |
| 3 | 村田 | FP | 矢ヶ崎 | 2 |
| 0 | 滝本 | FP | 佐藤 | 0 |
| 0 | 増馬 | FP | 富所 | 2 |
| 3 | 本池 | FP | 松本 | 0 |
| 2 | 吉田 | FP | 政 | 3 |
| 0 | 門永 | FP | 唐川 | 0 |
| 0 | 角高 | FP | 石井 | 0 |
| 0 | 来間 | FP | 鈴木 | 0 |
| 11 | (0) | PT | (1) | 16 |

審（三枝・大塚）

法政二 26（13—3, 13—10）13 西宮東
（神奈川）

| 得 | （西宮東） | | （法政二） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 大西 | GK | 大村 | 0 |
| 0 | 宮内 | GK | 佐藤 | 0 |
| 1 | 市河 | FP | 市川 | 4 |
| 6 | 田中 | FP | 小林 | 0 |
| 1 | 永谷 | FP | 飯嶋 | 6 |
| 2 | 安島 | FP | 山口 | 2 |
| 1 | 中条 | FP | 春原 | 5 |
| 0 | 本岡 | FP | 堀江 | 5 |
| 1 | 綿貫 | FP | 下川原 | 1 |
| 1 | 柳 | FP | 和泉 | 1 |
| 0 | 岡田 | FP | 草間 | 2 |
| 0 | 桜井 | FP | 橋村 | 0 |
| 13 | (5) | PT | (2) | 26 |

審（北井・上久保）

○…法政・市川のカットインで先制、飯嶋、堀江などが立てつづけに得点。西宮は8分にポストシュートでようやく1点、しかし、その後も飯嶋ミドル、春原のサイドなど着々加点。西宮は2本のPTで計3点に終わる。

後半も法政のカットからの速攻でスタート、カットイン、ミドルなどで加点。西宮は4分に安島のカットインで得点、更に5分20秒にPTで得点するが法政GKの好守もあり、一方法政は速攻、サイドと着々と加点し差を広げる。西宮は15分過ぎからミドルなどで得点するが、前半の差が大きくスピードに勝る法政の圧勝に終った。

大分電波 35（21—3, 14—5）8 坂出工
（香川）

| 得 | （坂出工） | | （電波） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 谷井 | GK | 藤内 | 0 |
| 0 | 中村 | GK | 柴田 | 0 |
| 3 | 山本 | FP | 甲斐 | 8 |
| 0 | 井上 | FP | 後藤 | 1 |
| 3 | 青木実 | FP | 小松 | 0 |
| 0 | 藤本 | FP | 海江田 | 2 |
| 1 | 坪田 | FP | 佐藤 | 4 |
| 0 | 三野 | FP | 吉田 | 7 |
| 0 | 中西 | FP | 前川 | 2 |
| 0 | 遠藤 | FP | 朝米 | 8 |
| 1 | 青木一 | FP | 源内 | 3 |
| 0 | 井原 | FP | 篠田 | 0 |
| 8 | (1) | PT | (4) | 35 |

審（清水・岡本）

○…大分電波は堅固なディフェンスからの速攻、また、余裕をもってのパスワークからのカットインシュート、そしてサイドシュートと点差を広げ圧勝する。坂出工は単調な動き、なかなかシュートチャンスがなく力を発揮できずに終わる。

氷見 30（16—9, 14—8）17 高島
（滋賀）

| 得 | （高島） | | （氷見） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 前川 | GK | 高橋 | 0 |
| 0 | 納木 | GK | 山田 | 0 |
| 0 | 富田 | FP | 瀬戸 | 1 |
| 0 | 澤田 | FP | 徳前 | 2 |
| 1 | 曽根 | FP | 岩上 | 5 |
| 2 | 八田 | FP | 山本 | 5 |
| 0 | 吉谷 | FP | 春木 | 8 |
| 0 | 橋本 | FP | 森 | 8 |
| 2 | 田中 | FP | 川渕 | 1 |
| 2 | 西川 | FP | 安田 | 0 |
| 5 | 木間 | FP | 谷野 | 0 |
| 5 | 萬木 | FP | 背戸 | 0 |
| 17 | (0) | PT | (2) | 30 |

審（菅野・半田）

○…小柄な高島は足を使ったキビキビした動きで氷見の攻撃を押さえていたが、中盤あたりからミスが目立ち、これを拾われ走られてからは走力の差がはっきり出、氷見の圧勝。

羽後 20（8—8, 12—11）19 真室川
（山形）

| 得 | （真室川） | | （羽後） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 沓沢崇 | GK | 斉藤 | 0 |
| | | GK | 橋本 | 0 |
| 1 | 渡部 | FP | 有原渡 | 4 |
| 4 | 高山 | FP | 村上 | 0 |
| 2 | 田口 | FP | 有原馨 | 5 |
| 1 | 荒川 | FP | 佐藤 | 1 |
| 3 | 丹 | FP | 菅野 | 4 |
| 1 | 近岡 | FP | 菅 | 4 |
| 1 | 後藤 | FP | 小野 | 2 |
| 6 | 叶内 | FP | 高橋 | 0 |
| 0 | 木戸 | FP | 伊藤 | 0 |
| 0 | 沓沢伸 | FP | 大久保 | 0 |
| 19 | (4) | PT | (2) | 20 |

審（田村・斉藤）

○…前半走りの良い羽後は、ポストへのパスを確実に得点に結びつけ、守ってはGKの好守で優位に立ったが、真室川は3本の7mを足場に23分には一度は逆転を見せ、8—8の同点で後半に入った。1点の攻防を羽後はマンツーマンでペース崩しを試み、相手のミスをつき逆転、2点差をつけたが、真室川の必死の追い上げを固い守りで防ぎ逃げ切った。

四日市工 22（12—8, 10—12）20 北陸
（三重）

| 得 | （北陸） | | （四工） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 城地 | GK | 森 | 0 |
| 0 | 竹沢 | GK | 服部 | 0 |
| 7 | 大久保 | FP | 伊藤 | 2 |
| 7 | 沢崎 | FP | 広瀬 | 1 |
| 0 | 竹山 | FP | 澤田 | 2 |
| 2 | 福村 | FP | 秦 | 0 |
| 1 | 川上 | FP | 久保 | 0 |
| 0 | 小野山 | FP | 中山 | 1 |
| 0 | 宮川 | FP | 真島 | 10 |
| 2 | 斉藤 | FP | 吉見 | 5 |
| 0 | 松田 | FP | 岡崎 | 1 |
| 1 | 増田 | FP | 小林 | 0 |
| 20 | (1) | PT | (5) | 22 |

審（光安・田嶋）

○…両チームとも激しい動きで応じ合い、大型の北陸がロングシュートで先手をとるも、中盤より相手のミスに乗じて四日市が逆転し前半終了。後半に入っても攻守にややムラのある北陸のスキをついて四日市は着々と加点、終盤北陸の追い上げをかわして快勝した。

市川 28（10—12, 18—11）23 浦添
（沖縄）

| 得 | （浦添） | | （市川） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 新城達 | GK | 芳賀 | 0 |
| 0 | 稲福 | GK | 早乙女 | 0 |
| 5 | 新城秀 | FP | 立元 | 9 |
| 6 | 松田 | FP | 川鍋 | 1 |
| 0 | 津波古 | FP | 野沢 | 0 |
| 5 | 宜保 | FP | 小池 | 0 |
| 0 | 由浅 | FP | 矢吹 | 10 |
| 3 | 宮城 | FP | 高橋 | 0 |
| 1 | 新城長 | FP | 湯浅 | 4 |
| 0 | 浜里 | FP | 野口 | 2 |
| 2 | 粟国 | FP | 宮川 | 0 |
| 1 | 西原 | FP | 尾沼 | 2 |
| 23 | (0) | PT | (0) | 28 |

審（谷藤・小友）

○…市川が速攻、セットとも巧く攻め、シードの浦添を倒す殊勲をあげた。試合は前半開始から1点を争う接戦。徐々に浦添の速攻が出始めペースを握るかに見えたが、後半に入りゲーム展開は変わり、フォーメーションを巧く生かした市川が一方的に攻め勝った。浦添はエース松田が不発に終ったのが痛かった。

浦和実 39（19—7, 20—7）14 添上
（埼玉）

○…添上が中盤の得点で先制したが、浦和実は着実に得点をあげ19—7と大差で前半を終わる。後半添上の闘志に期待したが、完全格上の浦和実の早い動きについていけず退場者続出、浦和実の完勝

に終った。

| (添上) | 得 | | (浦和実) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 田澤 | 0 | GK | 石井 | 0 |
| 石原 | 0 | GK | 長山 | 0 |
| 森本 | 1 | FP | 新井 | 7 |
| 橋本 | 2 | FP | 清田 | 4 |
| 福西 | 4 | FP | 猪瀬 | 7 |
| 藤本 | 0 | FP | 高橋 | 6 |
| 乾 | 1 | FP | 滝沢勝 | 5 |
| 中嶋 | 2 | FP | 滝沢哲 | 2 |
| 吉迫 | 2 | FP | 二階堂 | 4 |
| 岩本 | 2 | FP | 鈴木 | 1 |
| 山中 | 0 | FP | 田島 | 3 |
| 阪本 | 0 | FP | 清水 | 0 |
| | (0) 14 | PT | | 39 (3) |

審（千野 斉藤）

中京 23（10－10 13－11）21 小松工（石川）

| (小松工) | 得 | | (中京) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 釜田 | 0 | GK | 水谷 | 0 |
| 松本敏 | 0 | GK | 西井 | 0 |
| 松本賢 | 0 | FP | 久保田 | 2 |
| 関戸淳 | 4 | FP | 小島 | 2 |
| 古谷 | 8 | FP | 横井 | 0 |
| 松本暢 | 1 | FP | 大橋 | 7 |
| 今江 | 0 | FP | 大澤 | 6 |
| 吉田 | 4 | FP | 三輪 | 2 |
| 太田 | 0 | FP | 渡部 | 0 |
| 関戸謙 | 4 | FP | 島尻 | 3 |
| 橘 | 0 | FP | 中野 | 1 |
| 中村 | 0 | FP | 堀田 | 0 |
| | (0) 21 | PT | | 23 (5) |

審（斉藤 田村）

○…両チームともよく走る速攻型のチームであるが、小松工はゴールエリア前のテクニックが巧く両三ポストから決める。一方中京は、大味ながらタテに突進し豪快に決め一進一退、前半を10－10で終わる。後半に入っても両チームとも同じパターンの攻撃が続き、小松工はGK釜田の好守と速攻で逃げ切るかに見えたが、後半20分過ぎからの中京の速攻からのシュートが冴えて逆転、中京は大事な一戦をものにした。

東山（京都）20（12－10 17－8）18 総社

| (総社) | 得 | | (東山) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 須田 | 0 | GK | 吉田 | 0 |
| 福武 | 0 | GK | 梯 | 0 |
| 中塚 | 5 | FP | 高木 | 2 |
| 小野 | 3 | FP | 剛 | 0 |
| 長代 | 0 | FP | 城 | 3 |
| 花水 | 0 | FP | 香西 | 7 |
| 浅沼 | 5 | FP | 桑野 | 2 |
| 石原 | 2 | FP | 久保田 | 0 |
| 東 | 3 | FP | 中塚 | 0 |
| 大森 | 0 | FP | 橋本 | 7 |
| 柚木 | 0 | FP | 岩成 | 2 |
| 中西 | 0 | FP | 内田 | 6 |
| | (1) 18 | PT | | 29 (3) |

審（北井 上久保）

○…立ち上がりお互いにオーバーステップが多く波に乗れなかったが、総社・石原のステップシュート、東山・高木のサイドシュートが決まってから点のとり合いとなった。総社・花水が退場の間に東山が連続得点をあげ、12－10と東山2点リードで前半終了。後半互いにラフプレーが多くなり、退場者が5名も出たが、着実に得点をあげた東山が勝利をものにした。

新居浜工 22（13－7 9－13）20 長崎日大（長崎）

| (長崎) | 得 | | (新工) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 日野原 | 0 | GK | 南 | 0 |
| 辻 | 0 | GK | 山口 | 0 |
| 前田 | 1 | FP | 鈴木 | 4 |
| 杉谷 | 2 | FP | 藤田 | 4 |
| 松村 | 5 | FP | 長嶺 | 6 |
| 島 | 6 | FP | 神野 | 0 |
| 吉川 | 0 | FP | 白石 | 3 |
| 森 | 3 | FP | 小野 | 3 |
| 高村 | 2 | FP | 荒井 | 0 |
| 松下 | 1 | FP | 佐藤 | 2 |
| 宮佐田 | 0 | FP | 西原 | 0 |
| 林 | 0 | FP | 萬屋 | 0 |
| | (2) 20 | PT | | 22 (1) |

審（清水 岡本）

○…新居浜は長身の長嶺を中心としてセットオフェンスから得点。また、GK南の好守を中心としてディフェンスからの速攻で加点。一方長崎日大は、松村、森を中心としてポストプレー、速攻で得点、前半は13－7と新居浜のリードで終了。後半は徐々にプレーが生きて来た長崎日大が追い上げ一進一退の攻防が展開したが、多彩な攻撃を見せた新居浜が勝利する。

修道（広島）17（11－7 6－9）16 九州学院

| (九学) | 得 | | (修道) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 林田 | 0 | GK | 中津 | 0 |
| 長谷川 | 0 | GK | 竹田 | 0 |
| 佐藤和 | 10 | FP | 山田 | 4 |
| 大野 | 2 | FP | 中根 | 6 |
| 永田 | 1 | FP | 奥田 | 1 |
| 野中 | 0 | FP | 宗岡 | 3 |
| 三浦 | 0 | FP | 金沢 | 0 |
| 田中 | 0 | FP | 筒井 | 0 |
| 谷口 | 2 | FP | 大方 | 1 |
| 牧野 | 1 | FP | 後藤 | 0 |
| 栗山 | 0 | FP | 津島 | 2 |
| 佐藤一 | 0 | FP | 有政 | 0 |
| | (1) 16 | PT | | 17 (1) |

審（半田 菅野）

○…前半修道・宗岡の速攻、九州学院・佐藤のステップシュートより始まり、一進一退となったが速攻を生かした修道がリードで終了。後半も1年生GKの好守で速攻を生かした得点の修道に対し、九州学院は攻撃において空回りが多く修道のディフェンスをなかなか崩せなかった。

湯沢 17（8－6 9－7）13 上田（長野）

| (上田) | 得 | | (湯沢) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 西沢厚 | 0 | GK | 市川 | 0 |
| 宮下 | 0 | GK | 菅原 | 0 |
| 山崎 | 0 | FP | 松田 | 3 |
| 堀内 | 1 | FP | 佐藤正 | 3 |
| 伊藤 | 2 | FP | 斉藤 | 0 |
| 北沢 | 1 | FP | 赤平 | 8 |
| 西沢克 | 3 | FP | 柴田 | 1 |
| 青木 | 1 | FP | 佐藤明 | 0 |
| 塩野入 | 4 | FP | 最上 | 2 |
| 春原 | 0 | FP | 和賀 | 0 |
| 伏見 | 0 | FP | 渡辺 | 0 |
| 竹田 | 1 | FP | 庫山 | 0 |
| | (1) 13 | PT | | 17 (1) |

審（南波 新橋）

○…両チームともスピード豊かなプレーが続くが、もう一歩のところで攻め手を欠き、やや脚力に勝る湯沢が8－6と前半をリード。後半持田が必死に攻めるがシュート力に欠け湯沢が逃げ切る。

日川 20（9－13 11－6）19 下関中央工（山口）

| (下関) | 得 | | (日川) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 木本 | 0 | GK | 辻 | 0 |
| 中山 | 0 | GK | 大森 | 0 |
| 松浦 | 0 | FP | 植原 | 5 |
| 川路 | 6 | FP | 小池 | 2 |
| 杉村 | 1 | FP | 本間 | 8 |
| 樋口 | 1 | FP | 矢崎 | 0 |
| 大山 | 3 | FP | 深沢 | 0 |
| 堀江 | 5 | FP | 堀 | 2 |
| 石掛 | 3 | FP | 戸泉 | 0 |
| 有原 | 0 | FP | 中村 | 0 |
| 有村 | 0 | FP | 半山 | 2 |
| 西木戸 | 0 | FP | 大村 | 1 |
| | (4) 19 | PT | | 20 (2) |

審（光安 田嶋）

○…前半シャープな下関はややラフな日川のディフェンスを破って楽々とリード。後半立て直しを計った日川は中盤からじわじわと追い上げ、20分過ぎに逆転、粘る下関を突き離した。

此花学院（大阪）33（19－10 14－9）19 神埼農

○…地力に劣る神埼はセット戦に持ち込み、原田のトリッキーなスタンディングなどで点をあげたが、此花が多様なプレーで確実に得点を積み重ねた。両チームともにディフェンスにおいて足が止まり、相手の攻撃をほとんど阻止できなかった。此花の方がミスが少

| | (神埼農) | 得 | (此花) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 小林 | 0 | 丸山 | 0 |
| GK | 佐藤 | 0 | 岡田 | 0 |
| FP | 志岐 | 3 | 若島 | 7 |
| FP | 柿永 | 4 | 古川 | 4 |
| FP | 千住 | 0 | 西岡 | 4 |
| FP | 原田 | 7 | 泉 | 4 |
| FP | 浜野 | 3 | 金沢 | 1 |
| FP | 古賀 | 0 | 島添 | 0 |
| FP | 増田 | 2 | 平山 | 5 |
| FP | 中川 | 0 | 松永 | 4 |
| FP | 香月 | 0 | 間戸場 | 3 |
| FP | 小柳 | 0 | 小西 | 1 |
| PT | (0) | 19 | (5) | 33 |
| 審 | 谷藤・小友 | | | |

なく、速攻力で上回った分だけ大勝した。

▽3回戦

久工大附35（17―8 18―8）16明星

| | (明星) | 得 | (久大附) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 宮田 | 0 | 井上 | 0 |
| GK | 伊藤 | 0 | 坂本 | 0 |
| FP | 浜川 | 5 | 田中 | 5 |
| FP | 滝瀬 | 4 | 甲斐 | 13 |
| FP | 矢ヶ崎 | 2 | 松尾 | 2 |
| FP | 佐藤 | 0 | 小池 | 0 |
| FP | 富所 | 2 | 村田 | 4 |
| FP | 松本 | 0 | 石丸 | 6 |
| FP | 政 | 0 | 大坪 | 3 |
| FP | 唐川 | 1 | 誉田 | 1 |
| FP | 石井 | 0 | 大中 | 0 |
| FP | 鈴木 | 2 | 竹内 | 1 |
| PT | (0) | 16 | (7) | 35 |
| 審 | 清水・岡本 | | | |

○…両チームともパスワーク、走力など一つ一つが迫力のある内容であった。ただディフェンス力に勝る久工大附が試合の主導権を握り、前半終了時にはダブルスコアとなった。後半劣勢をはねかえそうとする明星は、退場者が交互に出て5人で試合する形が相次ぎ久工大附の思い通りの試合展開を許すことになった。走攻守三拍子揃った久工大附が印象的であった。

法政二19（8―4 11―11）15大分電波

| | (電波) | 得 | (法政二) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 藤内 | 0 | 大村 | 0 |
| GK | 柴田 | 0 | 佐藤 | 0 |
| FP | 甲斐 | 4 | 市川 | 4 |
| FP | 後藤 | 1 | 小林 | 1 |
| FP | 小松 | 0 | 飯嶋 | 5 |
| FP | 海江田 | 0 | 山口 | 1 |
| FP | 佐藤 | 1 | 春原 | 5 |
| FP | 吉田 | 3 | 堀江 | 1 |
| FP | 前川 | 1 | 下川原 | 1 |
| FP | 朝来 | 5 | 和泉 | 0 |
| FP | 源内 | 0 | 草間 | 1 |
| FP | 篠田 | 0 | 入鹿山 | 0 |
| PT | (3) | 15 | (2) | 19 |
| 審 | 大塚・三枝 | | | |

○…法政二のロングシュートで始まり、両チームともによく走るチームで好感が持てた。途中、大分の退場、失格者が最後まで響いた試合である。大分の残り5分の追い上げは素晴らしいものがあった。法政二GKの好守も光った。

氷見39（19―9 20―10）19羽後

| | (羽後) | 得 | (氷見) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 斉藤 | 0 | 高橋 | 0 |
| GK | 橋本 | 0 | 山田 | 0 |
| FP | 有原渡 | 6 | 瀬戸 | 4 |
| FP | 村上 | 0 | 徳前 | 6 |
| FP | 有原馨 | 4 | 岩上 | 8 |
| FP | 佐藤 | 2 | 山本 | 4 |
| FP | 菅野 | 3 | 春木 | 5 |
| FP | 菅 | 4 | 森 | 10 |
| FP | 小野 | 0 | 大江 | 2 |
| FP | 麻生 | 0 | 川渕 | 0 |
| FP | 伊藤 | 0 | 谷野 | 0 |
| FP | 大久保 | 0 | 背戸 | 0 |
| PT | (3) | 19 | (1) | 39 |
| 審 | 田村・増田 | | | |

○…前半立ち上がり、羽後はスカイプレーなどで互角の展開を見せたが、パスミス、ドリブルミスから氷見の速攻を許し、前半で19―9と思わぬ大差がついた。後半に入っても、氷見は相手のミスを速攻に結びつけた。羽後も速攻をよく出したが、氷見GK高橋の長身（190cm）の壁は厚く、なかなか得点をあげることができず、39―19で氷見が大勝した。

市川25（12―2 13―7）9四日市工

| | (四工) | 得 | (市川) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 森 | 0 | 芳賀 | 0 |
| GK | 服部 | 0 | 早乙女 | 0 |
| FP | 伊藤 | 1 | 立元 | 7 |
| FP | 広瀬 | 0 | 川鍋 | 5 |
| FP | 窪田 | 1 | 野沢 | 0 |
| FP | 秦 | 0 | 小池 | 1 |
| FP | 久保 | 0 | 矢吹 | 9 |
| FP | 中山 | 2 | 高橋 | 0 |
| FP | 真島 | 4 | 湯浅 | 0 |
| FP | 吉見 | 0 | 野口 | 0 |
| FP | 岡崎 | 1 | 宮川 | 0 |
| FP | 小林 | 0 | 尾沼 | 3 |
| PT | (0) | 9 | (2) | 25 |
| 審 | 南波・新橋 | | | |

○…四日市のシュートミスより速攻で市川は得点する。後半も同じパターンであるが、市川は選手交代を多くし最後まで走り込んだ。

浦和実26（15―15 11―9）24中京

| | (中京) | 得 | (浦和実) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 水谷 | 0 | 石井 | 0 |
| GK | 西井 | 0 | 長山 | 0 |
| FP | 久保田 | 6 | 新井 | 8 |
| FP | 小島 | 1 | 清田 | 3 |
| FP | 横井 | 0 | 猪瀬 | 2 |
| FP | 大橋 | 7 | 高橋 | 2 |
| FP | 大沢 | 6 | 滝沢勝 | 6 |
| FP | 三輪 | 2 | 滝沢哲 | 5 |
| FP | 渡部 | 0 | 二階堂 | 0 |
| FP | 島尻 | 2 | 鈴木 | 0 |
| FP | 中野 | 0 | 田島 | 0 |
| FP | 堀田 | 0 | 小栗 | 0 |
| PT | (3) | 24 | (4) | 26 |
| 審 | 横瀬・矢澤 | | | |

○…前半、互いに0―6のディフェンスをひき相手のミスを誘って速攻をかけようとするが、両方ともディフェンス力が弱く得点の取りあいになり前半は同点で終了。

浦和のGKの好守により速攻が決まりだした。パス回しの好ゲームであった。

新居浜工26（14―11 12―12）23東山

| | (東山) | 得 | (新工) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 吉田 | 0 | 南 | 0 |
| GK | 梯 | 0 | 山口 | 0 |
| FP | 高木 | 0 | 鈴木 | 3 |
| FP | 岡 | 0 | 藤田 | 2 |
| FP | 城 | 4 | 長嶺 | 7 |
| FP | 香西 | 5 | 神野 | 0 |
| FP | 桑野 | 0 | 白石 | 3 |
| FP | 久保田 | 0 | 小野 | 8 |
| FP | 中塚 | 0 | 長野 | 0 |
| FP | 橋本 | 6 | 佐藤 | 3 |
| FP | 岩成 | 2 | 西原 | 0 |
| FP | 内田 | 6 | 萬屋 | 0 |
| PT | (1) | 23 | (1) | 26 |
| 審 | 斉藤・田村 | | | |

○…前半、新居浜がPTで得点しスタート、速攻で加点、これに対し、東山はカットインプレーで得点、新居浜はエース長嶺がロングシュートを決め、速攻、ポストプレーと多彩な攻撃に対し、カットインプレー、ポストプレーを主とした東山の攻めが光ったが、新居浜3点リードで折り返す。後半7分過ぎ新居浜エース長嶺の退場の間に追い上げシーソーゲームかに見えたが、総合力に勝る新居浜が前半の差を生かし終了した。

湯沢21（11―11 10―5）16修道

| | (修道) | 得 | (湯沢) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 中津 | 0 | 市川 | 0 |
| GK | 竹田 | 0 | 菅原 | 0 |
| FP | 山田 | 2 | 松田 | 3 |
| FP | 中根 | 3 | 佐藤正 | 5 |
| FP | 奥田 | 2 | 斉藤 | 0 |
| FP | 宗岡 | 2 | 赤平 | 5 |
| FP | 金沢 | 0 | 柴田 | 5 |
| FP | 筒井 | 0 | 佐藤明 | 2 |
| FP | 大方 | 2 | 最上 | 1 |
| FP | 後藤 | 0 | 和賀 | 0 |
| FP | 津島 | 5 | 渡辺 | 0 |
| FP | 有政 | 0 | 庫山 | 0 |
| PT | (2) | 16 | (2) | 21 |
| 審 | 中島・加藤 | | | |

○…滑り出し湯沢のペースで試

合が展開された。終始2、3点差を保ち有利に進んだが、修道も堅塁GK竹田の好守によってジリジリと追い上げ同点で前半を終った。後半立ち上がり、湯沢のミドルシュートが功を奏し3点をリード、以後疲れの見えた修道ディフェンス陣に対し、ミドルシュート、サイドシュートなどゆさぶりをかけ成功した。修道も必死の反撃を試みるも湯沢の力の前に屈した。

此花学院20（14－4／6－15）19日川

| 得 | (此花) | | (日川) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 丸山 | GK | 辻 | 0 |
| 0 | 岡山 | | 大森 | 0 |
| 8 | 君島 | | 槇原 | 5 |
| 1 | 吉川 | | 小池 | 1 |
| 4 | 西岡 | FP | 本間 | 5 |
| 7 | 泉 | | 窪田 | 0 |
| 0 | 金沢 | 審 | 深沢 | 0 |
| 0 | 島添 | | 堀 | 1 |
| 0 | 平山 | （菅野 | 石原 | 0 |
| 0 | 松永 | 半田） | 中村 | 0 |
| 0 | 間戸場 | | 平山 | 3 |
| 0 | 小西 | | 大村 | 4 |
| 20 | (1) | PT | (0) | 19 |

○…開始直後よりミスの多い日川に比べて、此花は着実に得点し完全な此花ペースで前半が終った。後半に入ると、日川は得意の速攻で連続得点し、逆に此花は足が止り日川の反撃を許した。しかし、前半の差が大きく此花が1点差で逃げ切った。

▽準々決勝

久工大附30（15－8／15－4）12法政二

○…両チームとも非常にクリーンなディフェンスでテクニック中心の展開の速いゲームとなった。地力に勝る久工大附はロング、ポスト、サイドと多彩な攻撃から多量の得点を上げた。法政二も最後まであきらめず積極的なプレーを見せたが、久工大附の高く、フットワークを使ったディフェンスを破ることが出来ず涙をのんだ。両チームとも警告、退場がないクリーンハンドボールであった。

| 得 | (久大附) | | (法政二) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 井上 | GK | 大村 | 0 |
| 0 | 坂本 | | 佐藤 | 0 |
| 2 | 田中 | | 市川 | 2 |
| 10 | 甲斐 | | 小林 | 1 |
| 1 | 松尾 | FP | 飯嶋 | 2 |
| 3 | 小池 | | 山口 | 1 |
| 4 | 村田 | 審 | 春原 | 1 |
| 5 | 石丸 | | 堀江 | 3 |
| 0 | 大坪 | （伊藤 | 下川原 | 0 |
| 1 | 菅田 | 今野） | 和泉 | 0 |
| 2 | 大中 | | 草間 | 2 |
| 2 | 竹内 | | 橋村 | 0 |
| 30 | (3) | PT | (0) | 12 |

市川16（7－5／9－9）14氷見

| 得 | (市川) | | (氷見) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 芳賀 | GK | 高橋 | 0 |
| 0 | 早乙女 | | 山田 | 0 |
| 2 | 立元 | | 瀬戸 | 0 |
| 1 | 川鍋 | | 徳前 | 1 |
| 1 | 小池 | FP | 岩上 | 6 |
| 5 | 矢吹 | | 山本 | 2 |
| 0 | 高橋 | 審 | 春木 | 5 |
| 2 | 湯浅 | | 森 | 0 |
| 0 | 野口 | （半田 | 川渕 | 0 |
| 0 | 宮川 | 菅野） | 安山 | 0 |
| 0 | 井上 | | 谷野 | 0 |
| 5 | 尾沼 | | 背戸 | 0 |
| 16 | (0) | PT | (2) | 14 |

○…前半、市川はフォーメーションプレーを着実に決め7対5と氷見を引き離す。後半、市川フォーメーションをカットし氷見・春木速攻で得点を決め、氷見上昇ムードを市川・尾沼が連続ロングシュートで10対6とする。氷見も激しく攻撃し追い上げるが、市川・尾沼の活躍で氷見を突き離した。市川のムラのないゲーム展開である。

浦和実31（14－12／17－12）24新居浜工

| 得 | (浦和実) | | (新工) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 石井 | GK | 南 | 0 |
| 0 | 長山 | | 山口 | 0 |
| 10 | 新井 | | 鈴木 | 1 |
| 5 | 清山 | | 藤田 | 4 |
| 2 | 猪瀬 | FP | 長嶺 | 9 |
| 2 | 高橋 | | 高石 | 0 |
| 3 | 滝沢勝 | 審 | 神野 | 0 |
| 9 | 滝沢哲 | | 向石 | 1 |
| 0 | 二階堂 | （清水 | 小野 | 8 |
| 0 | 鈴木 | 岡本） | 佐藤 | 1 |
| 0 | 田島 | | 西尾 | 0 |
| 0 | 瀬尾 | | 萬屋 | 0 |
| 31 | (2) | PT | (4) | 24 |

○…試合開始新居浜・長嶺の2本のロングシュートで先行、浦和もポストプレーで得点するがディフェンスの動きが少なくカットインシュートを許してしまう。しかし、残り3分浦和2点連取して前半終了する。

後半、互いに激しい攻防でシーソーゲームが展開され手に汗する好試合である。新居浜も鍛えられたチームでよくがんばった。両チームの健闘をたたえたい。

此花学院29（12－7／17－6）13湯沢

○…立ち上がりより湯沢の速攻と此花のポストプレーで1点を競う好ゲーム。15分過ぎ此花の速攻でリズムをつかみ5点差で前半を終る。後半、此花・西岡、君島のシュートで突き離し、一方的な試合で終った。前半の5本のノーマークシュートが惜しまれた。

| 得 | (此花) | | (湯沢) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 丸山 | GK | 市川 | 0 |
| 0 | 岡田 | | 菅原 | 0 |
| 9 | 君島 | | 松田 | 0 |
| 2 | 吉川 | | 佐藤正 | 2 |
| 7 | 西岡 | FP | 斉藤 | 1 |
| 5 | 泉 | | 赤平 | 3 |
| 3 | 金沢 | 審 | 柴山 | 1 |
| 0 | 島添 | | 佐藤明 | 2 |
| 3 | 平山 | （千野 | 最上 | 2 |
| 0 | 松永 | 斉藤） | 和賀 | 2 |
| 0 | 間戸場 | | 渡辺 | 0 |
| 0 | 小西 | | 庫山 | 0 |
| 29 | (5) | PT | (0) | 13 |

▽準決勝

浦和実25（11－12／14－9）21此花学院

| 得 | (浦和実) | | (此花) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 石井 | GK | 丸山 | 0 |
| 0 | 長山 | | 岡田 | 0 |
| 7 | 新井 | | 君島 | 7 |
| 7 | 清田 | | 吉川 | 0 |
| 3 | 猪瀬 | FP | 西岡 | 5 |
| 1 | 高橋 | | 泉 | 4 |
| 3 | 滝沢勝 | 審 | 金沢 | 2 |
| 4 | 滝沢哲 | | 島添 | 0 |
| 0 | 二階堂 | （三枝 | 平山 | 2 |
| 0 | 鈴木 | 大塚） | 松永 | 1 |
| 0 | 田島 | | 間戸場 | 0 |
| 0 | 小栗 | | 小西 | 0 |
| 25 | (0) | PT | (0) | 21 |

○…立ち上がり、此花がロングシュートで2点連取して主導権を握るかに見えたが、5分過ぎ、浦和もポスト、速攻と多彩なプレーで逆転に成功する。15分過、此花が4ゴール連続で一時は3点リードしたが、終了間近浦和よくがんばり1点差で後半を迎える。

後半開始早々浦和がすぐ逆転、その後も気迫あふれるプレーでゲームが流れるが、結局固いディフェンスの浦和に軍配が上がる。此花の後半のディフェンスをもっとがんばってほしかった。

久工大附 30（17―8 13―14）22 市川

| (市川) | 得 | | (久大附) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 芳賀 | 0 | GK | 井上 | 0 |
| 早乙女 | 0 | GK | 坂本 | 0 |
| 立元 | 7 | FP | 田中 | 1 |
| 川鍋 | 5 | FP | 甲斐 | 11 |
| 野沢 | 0 | FP | 松尾 | 0 |
| 小池 | 0 | FP | 小池 | 1 |
| 矢吹 | 1 | FP | 村田 | 3 |
| 高橋 | 0 | FP | 石丸 | 2 |
| 永富 | 0 | FP | 大坪 | 0 |
| 湯浅 | 0 | FP | 誉田 | 9 |
| 野口 | 2 | FP | 大中 | 3 |
| 尾沼 | 7 | FP | 竹内 | 0 |
| 22 | (1) | PT | (2) | 30 |

審（北井・上久保）

○…両チームともに速い動きの中で着実に得点する久留米に対し、市川は攻めのミスと久留米のディフェンスを崩せず苦戦。後半攻めのリズムにのった市川が互角のゲーム展開で久留米を苦しめるが前半のミスの差が試合を決めた。

▽決勝

浦和実 22（8―8 14―9）17 久工大附

| (久大附) | 得 | | (浦和実) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 井上 | 0 | GK | 石井 | 0 |
| 坂本 | 0 | GK | 長山 | 0 |
| 田中 | 1 | FP | 新井 | 13 |
| 甲斐 | 10 | FP | 清田 | 1 |
| 松尾 | 0 | FP | 猪瀬 | 2 |
| 小池 | 0 | FP | 高橋 | 2 |
| 村田 | 4 | FP | 滝沢勝 | 3 |
| 石丸 | 1 | FP | 滝沢哲 | 1 |
| 大坪 | 1 | FP | 二階堂 | 0 |
| 誉田 | 0 | FP | 鈴木 | 0 |
| 大中 | 0 | FP | 田島 | 0 |
| 竹内 | 0 | FP | 瀬尾 | 0 |
| 17 | (1) | PT | (1) | 22 |

審（千野・斉藤）

○…試合開始、互いに固さがあり得点できず緊張ムード、久留米はパスミス、シュートミスが多く本来のペースをつかめず、浦和の粘り強い攻撃に苦戦する。後半、浦和は新井を中心によく走り着実にシュートを決め、残り3分前で6点差と意外な点差になってしまった。

久留米は、この試合シュートミスが多く、それにしても浦和のGKの活躍と13得点をあげた新井は素晴らしかった。両チームよくがんばった。

## 女子

▽1回戦

明石（兵庫）20（11―7 9―6）13 本庄（埼玉）

| (本庄) | 得 | | (明石) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 船ヶ山 | 0 | GK | 中谷 | 0 |
| 武田 | 0 | GK | 柳川 | 0 |
| 藤元 | 8 | FP | 白神 | 5 |
| 松元 | 3 | FP | 宮崎 | 0 |
| 中山 | 0 | FP | 岡本 | 4 |
| 森園 | 0 | FP | 4村 | 4 |
| 日高 | 1 | FP | 大野 | 6 |
| 横山 | 0 | FP | 森本 | 1 |
| 川上 | 1 | FP | 藤田 | 0 |
| 津倉 | 0 | FP | 栗脇 | 0 |
| 吉瀬 | 0 | FP | 倉元 | 0 |
| | | FP | 戎谷 | 0 |
| 13 | (2) | PT | (1) | 20 |

審（加藤・勝山）

○…前半、明石の速いボール回しからサイドポスト、ロングが決まる。本庄はボールコントロールが悪く得点に結びつかない。後半、本庄のシュートミスが明石の速攻につながり引き離される。

青森西（青森）14（9―2 5―10）12 清水商（静岡）

| (清水商) | 得 | | (青森西) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 鈴木 | 0 | GK | 藤川 | 0 |
| | | GK | 保田 | 0 |
| 漆畑 | 0 | FP | 小笠原 | 0 |
| 工藤 | 1 | FP | 櫛引 | 0 |
| 加藤 | 6 | FP | 白坂 | 2 |
| 久保田 | 3 | FP | 須藤 | 0 |
| 勝澤 | 0 | FP | 工藤 | 1 |
| 田中 | 2 | FP | 長谷川 | 3 |
| 大木 | 0 | FP | 中村 | 8 |
| 池田 | 0 | FP | 吉崎 | 0 |
| 石川 | 0 | FP | 中嶋 | 0 |
| 森島 | 0 | FP | 片岡 | 0 |
| 12 | (4) | PT | (5) | 14 |

審（田村・増田）

○…前半、青森西は走りをいかしサイド長谷川、白坂のフェイント、ポストと多彩な攻撃を見せた。一方、清水商はゲーム展開が単純で得点を出来ず終り。後半は、水を得た魚のように清水商は追い込みをかけたが、時間がたらずしてノーサイドとなった。

徳山商業（山口）16（7―3 9―5）8 新潟江南（新潟）

| (新潟) | 得 | | (徳山) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 堀 | 0 | GK | 出島 | 0 |
| 伊藤 | 0 | GK | 徳永 | 0 |
| 落田 | 0 | FP | 小池 | 8 |
| 河村 | 0 | FP | 田村 | 3 |
| 坂井 | 0 | FP | 温品 | 0 |
| 柴野 | 0 | FP | 長久 | 1 |
| 桜井 | 5 | FP | 中倉 | 0 |
| 榎並 | 0 | FP | 佐野 | 0 |
| 新保 | 0 | FP | 渡辺 | 0 |
| 古川 | 0 | FP | 福田 | 2 |
| 藤塚 | 2 | FP | 堀田 | 0 |
| 清水 | 1 | FP | 貞本 | 2 |
| 8 | (1) | PT | (4) | 16 |

審（南波・新橋）

○…両チーム立ち上がり、初戦の堅さがみられスローペース。江南桜井のシュートで先制。しかし、江南のミスから徳山商の速攻により逆転。江南・桜井にシュートを集めるものの単発、徳山商の速攻で7―3で前半終了。後半も動きに堅さがみられ、徳山商もミスはあるものの速攻で加点、後半10分で13―3とリード。江南も必死で反撃するも時速く、16―8で徳山商の勝利。

佼成学園（東京）15（8―3 7―4）7 日大山形（山形）

| (日大) | 得 | | (佼成) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 佐川 | 0 | GK | 加藤 | 0 |
| 鈴木 | 0 | GK | 高橋 | 0 |
| 清水 | 0 | FP | 北島 | 0 |
| 村上 | 0 | FP | 大場 | 4 |
| 今野 | 0 | FP | 長良 | 5 |
| 仲野 | 0 | FP | 渡部 | 3 |
| 岡崎 | 4 | FP | 渡辺 | 0 |
| 多田 | 0 | FP | 網野 | 1 |
| 丹野 | 0 | FP | 鈴木 | 0 |
| 藤田 | 1 | FP | 松本 | 2 |
| 梅木 | 0 | FP | 山本 | 0 |
| 菅原 | 0 | FP | 永田 | 0 |
| 7 | (0) | PT | (5) | 15 |

審（谷藤・小友）

○…前半、日大山形の中央突破による得点でスタートする。佼成学園は再三サイド攻撃でチャンスをつかむがラインクロスが多く得点に結びつかず苦しむ。しかし、6分過ぎサイドからのゴールインをきっかけにスピードで優る佼成が、その後着々と加点し差を広げて前半終了。

後半、日大がサイドシュート、スタンディングシュートで反撃し差を縮めるが、10分過ぎPTからの得点をきっかけに安定したゲーム運びとなる。脚力に劣る日大が退場者を出しゲームは決まってしまった。

佼成のミスに乗じれなかったのが惜しかった。

佐賀関（大分）13（7―1 6―4）5 本巣（岐阜）

○…立ち上がり両チームとも堅さが見られなかなか得点につながらない。しかし、10分過ぎ佐賀関橋本のポストシュートが決まり、

| | (本巣) | 得 | (佐賀関) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 波田 | 0 | 中村 | 0 |
| | 杉山 | 0 | 小水吉 | 0 |
| FP | 島中 | 1 | 佐藤 | 0 |
| | 水谷 | 1 | 姫野 | 1 |
| | 横山 | 1 | 橋本 | 2 |
| | 梶野 | 2 | 清水 | 1 |
| | 古田 | 0 | 古木 | 4 |
| | 若山 | 0 | 嶋田 | 5 |
| | 馬渕 | 0 | 藤原 | 0 |
| | 高橋 | 0 | 狭間 | 0 |
| | 大井 | 0 | 徳浦 | 0 |
| | 青山 | 0 | 石橋 | 0 |
| 審（中島・加藤） | | | | |
| PT | | (1) 5 | | 13 (0) |

以後自分達のペースをつかみ前半を終わる。後半立ち上がり、本巣はパスカットからのドリブル速攻を決めてなんとかペースをつかみ必死の攻防を展開するも、佐賀関も前半大量リードに余裕を持ち、古本、嶋田のロングシュート、こぼれ球速攻と本巣の追撃をゆうゆうと振り切った。

添上（奈良）29（14—4、15—3）7 高知東（高知）

| | (高知東) | 得 | (添上) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 松高 | 0 | 岡本 | 0 |
| | 宮中 | 0 | 中谷 | 0 |
| FP | 松村 | 0 | 岡村 | 2 |
| | 堺 | 5 | 杉岡 | 7 |
| | 西内 | 0 | 南山 | 0 |
| | 前田 | 0 | 藤江 | 0 |
| | 森木 | 1 | 山内 | 6 |
| | 関川 | 1 | 奥田 | 6 |
| | 門明 | 0 | 松崎 | 7 |
| | 中司 | 0 | 松下 | 1 |
| | 矢野 | 0 | 窪田 | 0 |
| | 野口 | 0 | | |
| 審（藤原・高山） | | | | |
| PT | | (1) 7 | | 29 (0) |

○…相手ミスを速攻により得点を重ねた添上の勝ち。両チームシュートミスが多かったし、高知東にはもう少しファイトがほしかった。

境（鳥取）12（3—3、9—3）6 屋代（長野）

| | (屋代) | 得 | (境) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 山崎 | 0 | 渡部 | 0 |
| | 町田 | 0 | 仲元 | 0 |
| FP | 安藤 | 0 | 阿部 | 2 |
| | 吉原 | 2 | 野津 | 2 |
| | 杉浦 | 0 | 川端 | 1 |
| | 両角 | 0 | 広島 | 3 |
| | 太田 | 0 | 大倉 | 0 |
| | 山崎 | 4 | 高島 | 1 |
| | 西沢 | 0 | 木村 | 2 |
| | 青木 | 0 | 浜田 | 1 |
| | 田口 | 0 | 坂根 | 0 |
| | 松本 | 0 | 角 | 0 |
| 審（伊藤・今野） | | | | |
| PT | | (0) 6 | | 12 (2) |

○…試合開始両チーム共に堅さが目立ち得点することができないままに4分経過。速攻を中心に境が得点するが屋代もよくがんばり前半3対3の同点で終了。後半、着実に境がリードを奪い、結局12—6で終了。

郡山女（福島）17（8—3、9—2）5 池田（徳島）

| | (池田) | 得 | (郡山女) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 宇埜 | 0 | 上遠野 | 0 |
| | 西川 | 0 | 永井 | 0 |
| FP | 山田 | 0 | 佐藤 | 0 |
| | 寺野 | 1 | 木原 | 2 |
| | 藤井仁 | 2 | 会田 | 4 |
| | 藤井政 | 0 | 高橋 | 5 |
| | 大久保 | 0 | 小川 | 2 |
| | 久保 | 0 | 松尾 | 2 |
| | 林 | 2 | 宗像 | 0 |
| | 西嶺 | 0 | 小林 | 0 |
| | 西森 | 0 | 大河内 | 1 |
| | 山本 | 0 | 吉田 | 1 |
| 審（千野・斉藤） | | | | |
| PT | | (1) 5 | | 17 (0) |

○…前半、池田の攻撃ミスから郡山は連続6点をとりペースをつかむ。池田は残り5分でエンジンがかかったが5点差で終了。後半、両チームともパスキャッチミスが目立ったが、チャンスを生かして得点を重ねた郡山が勝った。

粉河（和歌山）15（8—2、7—6）8 花巻北（岩手）

| | (花巻北) | 得 | (粉河) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 大田代 | 0 | 田村 | 0 |
| | 杉村 | 0 | 前木 | 0 |
| FP | 平賀 | 1 | 山本 | 0 |
| | 高橋亜 | 0 | 青田 | 0 |
| | 赤石 | 0 | 石木 | 1 |
| | 八重樫 | 2 | 藤本 | 3 |
| | 猫塚 | 0 | 富尾 | 0 |
| | 高橋早 | 0 | 谷口 | 1 |
| | 及川 | 1 | 寿糸 | 5 |
| | 藤原 | 4 | 日裏 | 4 |
| | 赤坂 | 0 | 山崎 | 1 |
| | 小田島 | 0 | 里 | 0 |
| 審（浅野・武田） | | | | |
| PT | | (2) 8 | | 15 (6) |

○…前半開始1分粉河は、寿糸がジャンプシュートから得点、その後も3連続得点し粉河4—0とリードする。一方、花巻北は後点のチャンスを生かせずに相手GKの好ディフェンスもあり苦しいゲームとなる。粉河は、着実にチャンスを得点に結びつけ前半8—2粉河の一方的ペースで終る。後半は、花巻北もよく頑張り一進一退、しかし、前半の得点差に余裕をもつ粉河がゲームを有利にすすめ勝利する。

仁愛女（福井）19（10—6、9—10）16 上磯（北海道）

| | (上磯) | 得 | (仁愛女) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 吉野 | 0 | 富田 | 0 |
| | 長谷川 | 0 | 由川 | 0 |
| FP | 横山 | 6 | 片岡 | 4 |
| | 栃木 | 3 | 藤田 | 1 |
| | 工藤 | 1 | 藤川 | 1 |
| | 小山田 | 3 | 北川 | 3 |
| | 藤本 | 1 | 松田 | 1 |
| | 狩野 | 2 | 牧野 | 0 |
| | 田中ひ | 0 | 駒野 | 0 |
| | 相馬 | 0 | 中村 | 0 |
| | 川上 | 0 | 石山 | 9 |
| | 田中光 | 0 | 恒本 | 0 |
| 審（勝山・加藤） | | | | |
| PT | | (0) 16 | | 19 (3) |

○…立ち上がり、お互いにパスミスが目立ったが4分仁愛がペナルティで先取点をあげる。8分に上磯の速攻で同点となり攻防が続いたが残り5分で仁愛が速攻で得点をあげ終了。後半上磯の連続得点で6分同点となり、上磯はポスト、仁愛は速攻での攻防が続いたが、ミスの少なかった仁愛が逃げ切った。

市郁学園（愛知）30（14—5、16—10）15 佐賀女（佐賀）

| | (佐賀女) | 得 | (市郁) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 古川 | 0 | 桑原 | 0 |
| | 一番合瀬 | 0 | 薛田 | 0 |
| FP | 山口 | 5 | 坂倉 | 5 |
| | 副島 | 2 | 小島 | 1 |
| | 松尾 | 0 | 安東 | 16 |
| | 山本 | 2 | 桜井 | 2 |
| | 塘 | 3 | 佐藤 | 1 |
| | 川崎 | 3 | 富広里 | 0 |
| | 前山 | 0 | 中山 | 3 |
| | 鶴田 | 0 | 羅山 | 1 |
| | 渕上 | 0 | 辻 | 0 |
| | 鳥越 | 0 | 富広晃 | 1 |
| 審（田村・斉藤） | | | | |
| PT | | (1) 15 | | 30 (0) |

○…市郁の順当勝ち、市郁は安東の速攻、カットインと前半で14—5と大差をつけ勝利を決定づけた。

川口女（埼玉）18（10—8、8—8）16 松江市女（島根）

| | (松江女) | 得 | (川口女) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 太田 | 0 | 森田 | 0 |
| | 木下 | 0 | 佐々木 | 0 |
| FP | 加茂 | 4 | 安田 | 4 |
| | 安島 | 0 | 常盤 | 1 |
| | 野津 | 1 | 百瀬 | 10 |
| | 稲田 | 0 | 金子 | 0 |
| | 宅和 | 3 | 大塚 | 0 |
| | 奥田 | 7 | 沢田 | 0 |
| | 花田 | 0 | 田村 | 0 |
| | 田村 | 0 | 尾上 | 1 |
| | 景山 | 1 | 鈴木 | 2 |
| | 松本 | 0 | 寺内 | 0 |
| 審（新橋・南波） | | | | |
| PT | | (2) 16 | | 18 (1) |

○…開始5分は両チームともミスの連続だったが、川口はポストプレーや常盤のロングで得点を重

ね常にリードを保った。一方松江は、奥田のステップやロングで追い上げ、川口の2点リードで前半を終った。後半、2分連続得点で同点に追いついた松江だが大切な時にミスが出て川口の速攻を許し、2点差で振り切られてしまった。

明倫（神奈川）20（8—3 12—10）13 暁（三重）

| 得 | 明倫 | | 暁 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 加藤 | GK | 矢田 | 0 |
| 0 | 浜尾 | GK | 野島 | 0 |
| 4 | 高橋 | FP | 三木 | 5 |
| 3 | 片岡 | FP | 日沖 | 2 |
| 5 | 渡辺 | FP | 山本 | 3 |
| 3 | 塚木 | FP | 堀内 | 0 |
| 0 | 桜井 | FP | 萩須 | 0 |
| 0 | 石崎 | FP | 森 | 0 |
| 1 | 石塚 | FP | 野田 | 3 |
| 0 | 斯波 | FP | 前田 | 0 |
| 3 | 小野寺 | FP | 小林 | 0 |
| 1 | 中村 | FP | 永峰 | 0 |
| 20 | (2) | PT | (1) | 13 |

審（増田 田村）

○…暁2分三木のロングシュートで先制するも、明倫・小野寺のカットインですぐ同点、その後9分までお互いなかなか得点出来ず、明倫11分中村の相手ボールのカットから堅さがとれ着々と得点を重さね8対3で前半を終了。後半も明倫早いパスワークから多彩な攻めをみせ快勝。

国分実（鹿児島）16（7—7 9—7）14 高田商（富山）

○…前半、高岡商・垣内のポストシュート、また国分実は末永のステップシュートから始まった。高岡商は高木を中心に攻撃したがミスがめだった。国分実は速攻をいかした攻撃であったが雑さが目

| 得 | 国分実 | | 高岡商 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 古元 | GK | 窪田 | 0 |
| 0 | 米平 | GK | 山崎 | 0 |
| 1 | 斜木 | FP | 能登 | 1 |
| 0 | 今吉 | FP | 垣内 | 3 |
| 2 | 古賀 | FP | 米島 | 0 |
| 2 | 松元 | FP | 鉢呂 | 2 |
| 8 | 末永 | FP | 松木 | 0 |
| 3 | 西田 | FP | 鍛治 | 1 |
| 0 | 山元 | FP | 嶋 | 0 |
| 0 | 福水 | FP | 江尾 | 0 |
| 0 | 水吉 | FP | 今井 | 0 |
| 0 | 川畑 | FP | 高木 | 7 |
| 16 | (1) | PT | (1) | 14 |

審（浅野 武田）

立ち同点で終了。後半、国分実はセットからの松元のロングで加点し差を広げた。しかし、高岡商も高木が頑張りついていったが、国分実・末永が大事な所で得点を重ね勝利をものにした。

高松商（香川）10（4—5 6—3）8 総社（岡山）

| 得 | 高松商 | | 総社 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 真鍋 | GK | 大角 | 0 |
| 0 | 鎌田 | GK | | |
| 0 | 桃本 | FP | 仲井 | 6 |
| 4 | 原山 | FP | 上村 | 0 |
| 0 | 堀 | FP | 藤原 | 1 |
| 1 | 川田 | FP | 浅沼 | 0 |
| 1 | 山下 | FP | 白木 | 0 |
| 0 | 三木 | FP | 小西 | 1 |
| 0 | 佐伯 | FP | 常野 | 0 |
| 0 | 佐々木 | FP | 小野 | 0 |
| 2 | 木村 | FP | 半田 | 0 |
| 2 | 福崎 | FP | 田中 | 0 |
| 10 | (2) | PT | (1) | 8 |

審（小友 谷藤）

○…前半、高松商はサイドシュートで先攻、その後互いに決め手を欠き、8分過ぎ総社サイドシュートで1対1になる。その後、高松が原田、川田でリードすると総社は仲井のステップシュートを2本決め追いつく。その後も一進一退で総社5対4で終了。後半も総社・仲井のステップ、高松は原田のジャンプシュートで得点と双方譲らず8―8の同点、ようやく高松15分に福崎のサイドシュートでリード、追いすがる総社を終了間際福崎の速攻で得点し突き放しに成功10―8で勝つ。

熊本市立（熊本）16（9—8 7—4）12 彦根商（滋賀）

| 得 | 熊本 | | 彦根商 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 松野 | GK | 福澤 | 0 |
| 0 | 野仲 | GK | 北川 | 0 |
| 2 | 鋤崎 | FP | 長屋 | 1 |
| 4 | 巽川 | FP | 中西 | 3 |
| 1 | 清村 | FP | 亀岡 | 2 |
| 3 | 藤本 | FP | 大久保 | 4 |
| 4 | 上村 | FP | 草野 | 1 |
| 0 | 笠井 | FP | 松崎 | 1 |
| 2 | 福島 | FP | 木瀬 | 0 |
| 0 | 米野 | FP | 島田 | 0 |
| 0 | 金井 | FP | 大矢 | 0 |
| | | FP | 又川 | 0 |
| 16 | (0) | PT | (3) | 12 |

審（田村 斉藤）

○…立ち上がり、彦根リズム良く中西、草野の速攻と亀岡、松崎のサイドシュートが決まり10分まで6―3とリードする。熊本は10分過ぎから巽川のミドルと上村のポストなどで追いつき接戦で前半を終った。後半、彦根は前半と同じ攻撃を熊本に読まれ攻め手を失い得点ができないうちに、熊本は速攻を決め突き離した。彦根は最後まで頑張り好感が持てた。

▽2回戦

小松市女（石川）29（15—2 14—2）4 明石

○…選抜優勝の小松市女が和田、林のロングシュートと速攻、攻守ともに明石を圧倒、後半、明石がポスプレーで攻撃するが、小松市女のディフェンスの高さに攻めきれずに終った。

| 得 | 小松 | | 明石 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 大聞 | GK | 中谷 | 0 |
| 0 | 川北 | GK | 柳川 | 0 |
| 2 | 丹後 | FP | 白神 | 2 |
| 5 | 和田 | FP | 宮崎 | 0 |
| 8 | 林 | FP | 岡本 | 1 |
| 4 | 野田 | FP | 中村 | 0 |
| 5 | 木村 | FP | 大野 | 1 |
| 2 | 米田 | FP | 森本 | 0 |
| 2 | 福田 | FP | 藤田 | 0 |
| 0 | 竹山 | FP | 栗脇 | 0 |
| 1 | 奥村 | FP | 倉元 | 0 |
| 0 | 今 | FP | 戎谷 | 0 |
| 29 | (3) | PT | (0) | 4 |

審（今野 伊藤）

昭和学院（千葉）16（8—2 8—3）5 青森西

| 得 | 昭和 | | 青森西 | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 神尾 | GK | 藤川 | 0 |
| 0 | 松丸 | GK | 保田 | 0 |
| 5 | 甲斐 | FP | 小笠原 | 1 |
| 0 | 斉藤和 | FP | 櫛引 | 0 |
| 0 | 菅田 | FP | 白坂 | 2 |
| 2 | 斉藤智 | FP | 須藤 | 0 |
| 1 | 小松崎 | FP | 工藤 | 1 |
| 1 | 須賀 | FP | 長谷川 | 1 |
| 0 | 河本 | FP | 中村 | 0 |
| 0 | 太古 | FP | 吉崎 | 0 |
| 0 | 石毛 | FP | 中嶋 | 0 |
| 7 | 岡村 | FP | 片岡 | 0 |
| 16 | (2) | PT | (1) | 5 |

審（浅野 武田）

○…青森西の攻撃は、セットを組んでパスを回してもシュートまで結びつかず、昭和の早い動きに振り回され点差をあけられた。昭和は、甲斐の個人プレーと左右両サイドからの攻撃と多彩な攻めで一方的に勝利を飾った。

宣真（大阪）15（10—5 5—5）10 徳山商

○…宣真はロング、徳山は速攻で序盤せりあうも宣真・鈴木のロングがよく決まり10―5で前半を終える。後半、徳山は宣真・鈴木にマンツーをつけ、相手ミスを誘い追いあげるも前半の差があまりに大きく宣真が逃げ切った。

| | 得 | (徳山商) | (宜真) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 出嶋 | 鬼防 | 0 |
| | 0 | 徳永 | 諸井 | 0 |
| FP | 2 | 小池 | 平川 | 0 |
| | 3 | 田村 | 鈴木 | 7 |
| | 0 | 温品 | 川村 | 2 |
| | 0 | 長久 | 道上 | 1 |
| | 0 | 中倉 | 内田 | 0 |
| | 1 | 佐野 | 溝渕 | 0 |
| | 1 | 渡辺 | 岸間 | 3 |
| | 1 | 福田 | 阪口 | 0 |
| | 0 | 堀田 | 永井 | 1 |
| | 2 | 貞本 | 赤山 | 1 |
| PT | 10 (1) | | | (1) 15 |

審（中島 加藤）

佼成学園 20（9－9 11－7）16 読谷（沖縄）

| | 得 | (読谷) | (佼成) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 小渡 | 加藤 | 0 |
| | 0 | 仲田 | 和田 | 0 |
| FP | 2 | 米須 | 北島 | 0 |
| | 0 | 島袋 | 大場 | 6 |
| | 1 | 金城 | 長良 | 7 |
| | 3 | 松田み | 渡部 | 2 |
| | 0 | 宮瀬 | 渡辺 | 0 |
| | 4 | 新垣清 | 網野 | 4 |
| | 0 | 田場 | 鈴木 | 1 |
| | 0 | 上地 | 松本 | 0 |
| | 2 | 新垣菊 | 山本 | 0 |
| | 4 | 松田妙 | 永田 | 0 |
| PT | 16 (0) | | | (0) 20 |

審（横瀬 矢澤）

○…前半は佼成学園・長良を軸によく動きミドルシュートでの得点、一方、読谷は松田の動きから点、ポストプレーでの得点が中心で9対9の同点で終る。後半になり5分経過時、10分経過時に読谷に退場者がでたが、佼成学園攻めきれず相手にリードを許し苦戦したが、残り時間5分を切った頃より相手ミスをつき得点を重ね勝利を手にする。

添上 20（9－3 11－8）11 和洋女（秋田）

○…大型選手を持つ和洋女と小粒で揃えた添上という対照的な両チームの対戦は非常に興味を持たれた。滑り出し添上は、相手こぼれ球を速攻で先取し、以後早いパスワークからのカットイン、逆速攻、南村の中距離ステップシュートなど多彩な攻めで得点を重ねる。対する和洋女再三のノーマークシュートを添上GK岡本の巧ディフェンスにはばまれ、どうしても点差が縮まらずプレーにあせりが見えた。後半捨身の反撃を試みて得点するが点差は一向縮まらず涙を飲んだ。

| | 得 | (和洋女) | (添上) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 太田 | 岡本 | 0 |
| | 0 | 斉藤 | 中谷 | 0 |
| FP | 0 | 藤原 | 岡村 | 5 |
| | 1 | 保泉 | 杉岡 | 4 |
| | 0 | 藤原 | 南村 | 7 |
| | 6 | 高橋 | 藤江 | 1 |
| | 2 | 中村 | 山内 | 0 |
| | 1 | 佐々木 | 奥田 | 0 |
| | 1 | 鈴木 | 松崎 | 3 |
| | 0 | 伊藤 | 松下 | 0 |
| | 0 | 井上 | 窪田 | 0 |
| | 0 | 石井 | | |
| PT | 11 (3) | | | (4) 20 |

審（井川 九田）

吉井（群馬） 13（4－0 9－6）6 佐賀関

| | 得 | (佐賀関) | (吉井) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 中村 | 渋谷 | 0 |
| | 0 | 小永吉 | 浅香 | 0 |
| FP | 0 | 佐藤 | 武田 | 2 |
| | 1 | 姫野 | 須藤 | 0 |
| | 1 | 橋本 | 春山 | 7 |
| | 0 | 清水 | 吉田 | 2 |
| | 1 | 古本 | 山口 | 0 |
| | 3 | 嶋山 | 佐藤美 | 0 |
| | 0 | 藤原 | 小林 | 1 |
| | 0 | 狭間 | 佐藤容 | 1 |
| | 0 | 徳浦 | 松井 | 0 |
| | 0 | 石橋 | 田中 | 0 |
| PT | 6 (0) | | | (4) 13 |

審（中島 加藤）

○…前半、吉井3分にサイドシュート、5分PTを決め一気に押し切るかに見えたが以後両チーム攻め切れず、残り3分に吉井速攻、2分ポストシュートで得点し4対0で終る。後半、両チーム動きがよくなりゲームらしくなった。攻めに幅のある吉井の勝ちという試合だった。佐賀関はもう少し攻めに工夫がほしかった。

東海大五（福岡） 14（8－4 6－5）9 境

| | 得 | (境) | (東海五) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 渡部 | 反尾 | 0 |
| | 0 | 仲元 | 楠野 | 0 |
| FP | 2 | 阿部 | 仲村 | 3 |
| | 2 | 野津 | 和田 | 2 |
| | 0 | 川端 | 渡辺比 | 4 |
| | 0 | 広島 | 中西 | 2 |
| | 0 | 大倉 | 宮原 | 0 |
| | 0 | 高島 | 岩崎 | 2 |
| | 1 | 木村 | 渡辺賀 | 0 |
| | 2 | 浜田 | 松井 | 1 |
| | 2 | 坂根 | 神 | 0 |
| | 0 | 角 | 石口 | 0 |
| PT | 9 (3) | | | (0) 14 |

審（勝山 加藤）

○…前半は両チームよくチャンスをつかんでシュートまでいくのであるが、GKの好守でなかなか得点することができなかった。しかし、東海大五が相手のミスから速攻を生かし少しずつリードを広げる。後半、境もよく粘り追い上げたが大事な所でオーバーステップ、シュートミスが痛かった。

水海道二（茨城） 14（6－0 8－6）6 郡山女

○…前半、ディフェンスのよい水海道に郡山は1点も取れず、後半も無理なシュートから相手の速攻にあい点差がひらくばかりであった。

栃木女（栃木） 22（14－5 8－4）9 粉河

○…女子の名門栃木女は、相川、中村、名塚を中心に多彩な攻めで得点、一方、粉河も攻めるのだが栃木女の早い帰陣にあい苦戦した。後半に入っても栃木女は速攻などで加点した。特に相川のノーステップシュート、中村のカットインプレーが光った。粉河も石本を中心に攻めたが最後はシュート力の差があらわれたようだ。

| | 得 | (郡山女) | (水二) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 上遠野 | 小口 | 0 |
| | 0 | 永井 | 近沢 | 0 |
| FP | 1 | 佐藤 | 富山 | 0 |
| | 0 | 木原 | 森 | 1 |
| | 1 | 会田 | 太田 | 6 |
| | 1 | 高橋 | 野添 | 2 |
| | 1 | 小川 | 鈴木白 | 0 |
| | 0 | 松尾 | 富山 | 1 |
| | 1 | 宗像 | 磯山 | 1 |
| | 1 | 小林 | 鈴木恵 | 1 |
| | 0 | 吉田 | 遠藤 | 0 |
| | 0 | 曽部 | 小沼 | 2 |
| PT | 6 (0) | | | (1) 14 |

審（三枝 大塚）

| | 得 | (粉河) | (栃木女) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 田村 | 吉村 | 0 |
| | 0 | 前木 | 山下 | 0 |
| FP | 1 | 山本 | 見目 | 0 |
| | 0 | 青田 | 渡辺 | 1 |
| | 3 | 石本 | 菅沼 | 1 |
| | 0 | 藤本 | 相川 | 5 |
| | 0 | 富尾 | 福田 | 0 |
| | 1 | 谷口 | 桜木 | 0 |
| | 3 | 寿糸 | 中村 | 7 |
| | 0 | 日裏 | 名塚 | 5 |
| | 1 | 山崎 | 片柳 | 1 |
| | 0 | 木村 | 藤沼 | 2 |
| PT | 9 (0) | | | (1) 22 |

審（新橋 南波）

仁愛女 11（7－4 4－2）6 長崎日大（長崎）

○…前半、脚力に勝る仁愛が、北川、石田のミドルと速攻で得点をあげた。一方、長崎はポストをうまく使い得点し7対4で仁愛リードで終る。後半は、両チームとも得点チャンスを作れず10分過ぎまで1対0であったが、残り5分で仁愛がよく走り速攻を決め突き離して終った。両チームとも基本を身につけて欲しい。

| | 得 | (長崎) | (仁愛女) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 増見 | 冨田 | 0 |
| | 0 | 松尾 | 由川 | 0 |
| FP | 2 | 久野 | 中宮 | 0 |
| | 3 | 渡辺 | 片岡 | 2 |
| | 1 | 荒川 | 藤田 | 1 |
| | 0 | 田中 | 藤川 | 2 |
| | 0 | 藤田 | 北川 | 3 |
| | 0 | 牧野 | 松田 | 1 |
| | 0 | 松本 | 牧野 | 0 |
| | 0 | 木下 | 駒野 | 0 |
| | 0 | 野中 | 中村 | 0 |
| | 0 | 祐野 | 石田 | 2 |
| PT | 6 (2) | | | (0) 11 |

審（増田 田村）

市邨学園 20（8－5 12－6）11 東宇治（京都）

| | 得 | (東宇治) | (市邨) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| GK | 0 | 大味 | 桑原 | 0 |
| | 0 | 荒賀 | 薛田 | 0 |
| FP | 7 | 谷口 | 坂倉 | 7 |
| | 0 | 安川 | 小島 | 1 |
| | 0 | 森 | 安東 | 11 |
| | 3 | 玉木 | 桜井 | 0 |
| | 0 | 本田 | 佐藤 | 1 |
| | 0 | 富岡 | 富広 | 0 |
| | 0 | 古田 | 中山 | 0 |
| | 0 | 平岡 | 樅山 | 0 |
| | 1 | 白井 | 松浦 | 0 |
| | 0 | 田中 | 辻 | 0 |
| PT | 11 (3) | | | (3) 20 |

審（藤原 高山）

○…市邨のカットインで先攻するも、その後お互いに決め手を欠きなかなか得点できず、わずかに市邨の速攻が上回り前半8対5で終了。後半になり、市邨のリズムがよくなり速攻がよく決まり大差がつく。東宇治も健闘するも市邨のディフェンスを崩せず、決め手に欠けディフェンスの詰めも甘かったのが大差になった。

川口女 20（11－6 9－5）11 今治北（愛媛）

○…チャンスを確実に得点する

| (川口女)得 | 川口女 | | 今治北 | (今治北)得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 森山 | GK | 岩井 | 0 |
| 0 | 佐々木 | GK | 杉野 | 0 |
| 4 | 安田 | FP | 八木 | 0 |
| 2 | 常盤 | FP | 森田佳 | 1 |
| 5 | 白瀬 | FP | 加藤 | 0 |
| 3 | 金子 | FP | 森田涼 | 3 |
| 0 | 大塚 | FP | 藤井 | 0 |
| 0 | 沢田 | FP | 井下 | 1 |
| 0 | 田村 | 審（今野 伊藤） | 山下 | 0 |
| 1 | 尾上 | | 池田 | 1 |
| 4 | 鈴木 | | 塚元 | 5 |
| 1 | 寺内 | | 越智 | 0 |
| 20 | (3) | PT | (1) | 11 |

川口女、攻めが単調でミスが目立つ今治北、サウスポー加藤、安田の力強いシュートで終始リードを保ち、川口女が勝利をものにした。今治北のパワフルな攻撃を望む。

明倫 15（5—5 10—9）14 大曲農（秋田）

| 得(明倫) | 明倫 | | 大曲農 | (大曲農)得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 加藤 | GK | 佐藤礼 | 0 |
| 0 | 浜尾 | GK | 大山 | 0 |
| 7 | 高橋 | FP | 伊藤 | 3 |
| 1 | 片岡 | FP | 小松 | 1 |
| 3 | 渡辺 | FP | 小山 | 0 |
| 2 | 塚本 | FP | 斉藤 | 0 |
| 0 | 石崎 | FP | 後藤 | 0 |
| 0 | 石塚 | FP | 佐藤美 | 0 |
| 0 | 斯波 | 審（浅野 武田） | 高田 | 0 |
| 2 | 小野寺 | | 新田 | 7 |
| 0 | 中村 | | 鈴木 | 0 |
| 0 | 大岡 | | 青谷 | 3 |
| 15 | (7) | PT | (2) | 14 |

○…開始直後大曲・青谷のロングシュートが決まり好調スタート、明倫に固さが見られる中で大曲農・新田、青谷のロングシュートが決まり3対1とリードする。明倫ペナルティと大曲農のミスから明倫・小松が速攻で3対3と好カード。後半立ち上がり明倫連続攻撃で7—5と好スタート。しかし、大曲農も新田のロングシュートで10—9と逆転。その後互いにシーソーゲームの展開。残り30秒、明倫パスカットから速攻、大曲の反則でペナルティーを得、これを高橋が決めて勝負が決まった。

国分実 11（6—6 5—4）10 聖和学園 古川（宮城）

| 得(国分実) | 国分実 | | 聖和 | (聖和)得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 吉元 | GK | 行方 | 0 |
| 0 | 米平 | GK | 森田 | 0 |
| 1 | 斜木 | FP | 佐藤 | 6 |
| 0 | 今古 | FP | 松山 | 1 |
| 0 | 古賀 | FP | 斉藤 | 1 |
| 5 | 松元 | FP | 今野 | 1 |
| 1 | 末永 | FP | 高橋 | 1 |
| 2 | 西田 | FP | 遠藤 | 0 |
| 2 | 山元 | 審（高山 藤原） | 大島 | 0 |
| 0 | 福永 | | 皆川 | 0 |
| 0 | 永吉 | | 相沢 | 0 |
| 0 | 川畑 | | 安野 | 0 |
| 11 | (0) | PT | (5) | 10 |

○…5分国分がサイドシュートで先取点。その後、聖和が速攻で点を重ね4—1とリードするが、国分も追い上げ6—6で前半を終了。後半お互いに立ち上がりが悪く追加点が入らなかったが、聖和・佐藤のスタンディングシュートが決まってからお互いの動きが良くなった。力は互角であったが、国分が1点差で逃げ切った。

日川（山梨）13（6—5 7—4）9 高松商

○…大型の日川は丸山を中心に動き、ミドル、サイドシュートを決めリードする。一方、高松は、シャープな動きから原田のミドルシュートやポスト攻撃で追撃、同点とするも、18分日川ペナルティを決めリードして前半を終る。後半、日川・小泉、丸山を中心にサイド、ミドルシュートを決めリードを広げる。高松は日川の大型ディフェンスの壁を破れず攻めあぐみ得点することが出来ず敗れる。

| 得(日川) | 日川 | | 高松商 | (高松商)得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 横内 | GK | 真鍋 | 0 |
| 0 | 風間 | GK | 鎌田 | 0 |
| 0 | 丹羽 | FP | 桃本 | 0 |
| 0 | 早川 | FP | 原田 | 8 |
| 0 | 広瀬 | FP | 堀 | 0 |
| 4 | 小泉 | FP | 川田 | 0 |
| 7 | 丸山 | FP | 山下 | 0 |
| 1 | 鮎沢 | FP | 三木 | 0 |
| 1 | 高橋 | 審（横瀬 天澤） | 佐伯 | 1 |
| 0 | 古屋 | | 佐々木 | 0 |
| 0 | 井戸 | | 木村 | 0 |
| | | | 福崎 | 0 |
| 13 | (2) | PT | (2) | 9 |

熊本市立 19（10—9 9—7）16 山陽女

| 得(熊本) | 熊本市立 | | 山陽女 | (山陽女)得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 松野 | GK | 笑迫 | 0 |
| 0 | 野仲 | GK | 久保 | 0 |
| 5 | 鋤崎 | FP | 弘中 | 2 |
| 6 | 甕川 | FP | 安部 | 0 |
| 1 | 清村 | FP | 池田 | 6 |
| 2 | 藤本 | FP | 川本 | 5 |
| 5 | 上村 | FP | 本西 | 0 |
| 0 | 笠井 | FP | 大林 | 2 |
| 0 | 福島 | 審（井川 九田） | 河井 | 0 |
| 0 | 米野 | | 西村 | 1 |
| 0 | 金井 | | 森 | 0 |
| 0 | 辻浦 | | 川井 | 0 |
| 19 | (0) | PT | (3) | 16 |

○…双方とも立ち上がりはミスが多く、どんなゲームになるかと思われたが次第に走り、パス、シュートも確実となる。熊本市立・甕川のロングシュート、山陽女のコンビプレーで1点を争う好ゲームを展開した。結局19対16で熊本市立が勝ちをものにする。山陽女後半中ばの同点機のペナルティスロー失敗が惜しまれる。

▽3回戦

昭和学院 12（4—8 8—3）11 小松市女

| 得(昭和) | 昭和学院 | | 小松市女 | (小松)得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 神尾 | GK | 大間 | 0 |
| 4 | 甲斐 | GK | 川北 | 0 |
| 2 | 斉藤和 | FP | 丹後 | 0 |
| 0 | 菅田 | FP | 和田 | 4 |
| 2 | 斉藤美 | FP | 林 | 3 |
| 1 | 小松崎 | FP | 野田 | 0 |
| 0 | 須賀 | FP | 木村 | 2 |
| 0 | 河本 | FP | 米田 | 0 |
| 0 | 太古 | 審（斉藤 千野） | 福田 | 2 |
| 2 | 石毛 | | 竹田 | 0 |
| 1 | 岡村 | | 奥村 | 0 |
| | | | 今 | 0 |
| 12 | (2) | PT | (1) | 11 |

○…前半、昭和・甲斐中心とした早いコンビプレーで得点、一方、小松は和田、林中心に多彩なプレーで得点する。小松GK大間が再度好守し8対4と小松リード。後半、小松連続退場から昭和キッカケをものにし、残り1分11—11と同点、昭和・甲斐からの早いブロックプレーで12対11、小松のディフェンスの甘さで勝負が決る。

佼成学園 15（5—6 10—6）12 宣真

| 得(佼成) | 佼成学園 | | 宣真 | (宣真)得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 加藤 | GK | 鬼防 | 0 |
| 0 | 和田 | GK | 平川 | 2 |
| 1 | 北島 | FP | 鈴木 | 1 |
| 6 | 大場 | FP | 川村 | 0 |
| 6 | 長良 | FP | 道上 | 1 |
| 1 | 渡部 | FP | 内田 | 3 |
| 0 | 渡辺 | FP | 溝渕 | 0 |
| 1 | 網野 | FP | 岸間 | 1 |
| 0 | 鈴木 | 審（上久保 北井） | 阪口 | 1 |
| 0 | 松木 | | 永井 | 3 |
| 0 | 山木 | | 赤山 | 0 |
| 0 | 永田 | | | |
| 15 | (4) | PT | (1) | 12 |

○…長身の揃った宣真に対して、佼成は高い壁を破れずサイドからのショートとペナルティスロ

ーで得点を重ねたが、宣真のロングと走りに前半追いつくのがやっとだった。後半も宣真の速攻に一時5点差と開いたが、佼成はサイドからたて続けに4点入れ点をつめた。宣真のディフェンスがラフになり退場者が出た為本来の動きができず、終了近く逆転され、佼成の動きについて行けなくなり、そのまま終った。

吉井 12（6－5 / 6－3）8 添上

| 得 | （吉井） | | （添上） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 渋谷 | GK | 岡本 | 0 |
| 0 | 浅香 | GK | 中谷 | 0 |
| 4 | 武田 | FP | 岡村 | 0 |
| 0 | 須藤 | FP | 杉岡 | 1 |
| 1 | 春山 | FP | 南村 | 3 |
| 3 | 吉田 | FP | 藤江 | 1 |
| 1 | 山口 | FP | 山内 | 2 |
| 1 | 佐藤美 | FP | 奥田 | 0 |
| 1 | 小林 | FP | 松崎 | 0 |
| 1 | 佐藤容 | FP | 松下 | 1 |
| 0 | 松井 | FP | 窪田 | 0 |
| 0 | 田中 | FP | | |
| 12 | (0) | PT | (1) | 8 |

審（山嶋・光安）

〇…立ち上がり、両チームともよく走り速攻を決め一進一退の展開であったが、中盤から添上・南村のミドルと吉井・武田のカットインで得点をあげ1点差で前半終る。後半、直ぐ添上・南村のミドルで同点とするも、吉井全員がよく走り、速攻で得点差を開き、最後はサイド攻撃がよく決り勝ちを決めた。添上再三のPTの失敗が惜しまれる。

水海道二 27（13－6 / 14－6）12 東海大五

〇…前半、10分までは仲村のシュートなどで追いすがる東海大五

| 得 | （水二） | | （東海五） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 小口 | GK | 反尾 | 0 |
| 0 | 近沢 | GK | 楠野 | 0 |
| 3 | 冨山 | FP | 仲村 | 4 |
| 3 | 森 | FP | 和田 | 3 |
| 2 | 太田 | FP | 渡辺比 | 1 |
| 5 | 野添 | FP | 中西 | 3 |
| 5 | 鈴木百 | FP | 宮原 | 0 |
| 0 | 富山 | FP | 岩崎 | 0 |
| 4 | 磯山 | FP | 渡辺賀 | 0 |
| 2 | 鈴木恵 | FP | 松井 | 1 |
| 2 | 遠藤 | FP | 神 | 0 |
| 1 | 小沼 | FP | 石口 | 0 |
| 27 | (0) | PT | (2) | 12 |

審（井川・九山）

も、攻撃がやや巣調で決め手がなく、パスを相手にカットされ逆に速攻に結びつけられるというパターンが続く。水海道二は、速攻、野添のカットインなどで着々と得点をあげた。後半、足の止まった水海道ディフェンスのスキをつきステップシュートなどで東海五は追い上げるものの、水海道の速さと高さの前に最後まで圧倒された形の試合であった。

栃木女 23（15－0 / 8－8）8 仁愛女

| 得 | （栃木女） | | （仁愛女） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 吉村 | GK | 冨田 | 0 |
| 0 | 山下 | GK | 由川 | 0 |
| 0 | 見目 | FP | 片岡 | 1 |
| 2 | 渡辺 | FP | 野尻 | 0 |
| 1 | 菅沼 | FP | 藤田 | 1 |
| 6 | 相川 | FP | 藤川 | 3 |
| 1 | 桜木 | FP | 北川 | 1 |
| 9 | 中村 | FP | 松田 | 0 |
| 3 | 名塚 | FP | 牧野 | 0 |
| 1 | 片柳 | FP | 駒野 | 0 |
| 0 | 藤沼 | FP | 中村 | 0 |
| 0 | 中野 | FP | 石田 | 2 |
| 23 | (1) | PT | (0) | 8 |

審（勝山・加藤）

〇…前半、仁愛は栃木の堅いディフェンスを破ることが出来ずロングシュートのみ、ノーマークシュートもはずし15－0の一方的リードを許した。後半、メンバーを落とした栃木に対し、仁愛必死に食い下がり後半は8－8、しかし前半の差が大きく、力及ばず。栃木のGKの好守が目についた。

市邨学園 22（13－5 / 9－9）14 川口女

| 得 | （市邨） | | （川口女） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 桑原 | GK | 森田 | 0 |
| 0 | 蒔田 | GK | 佐々木 | 0 |
| 6 | 板倉 | FP | 安田 | 3 |
| 5 | 小島 | FP | 常盤 | 0 |
| 5 | 安東 | FP | 百瀬 | 6 |
| 2 | 桜井 | FP | 金子 | 3 |
| 3 | 佐藤 | FP | 大塚 | 0 |
| 1 | 中山 | FP | 沢田 | 0 |
| 0 | 富広里 | FP | 田村 | 0 |
| 0 | 撒山 | FP | 尾上 | 1 |
| 0 | 辻 | FP | 鈴木 | 1 |
| 0 | 富広晃 | FP | 手内 | 0 |
| 22 | (3) | PT | (2) | 14 |

審（藤原・高山）

〇…開始早々の市邨学園・板倉のPTで先制、川口女も安田のロングシュートですぐ返したが、市邨小島のロング、安東の速攻が決り着々と差を開く。川口女・百瀬を中心に必死の反撃を試みるが追いつかず、市邨学園の順当な勝利。

国分実 18（7－6 / 11－5）11 明倫

| 得 | （国分実） | | （明倫） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 吉元 | GK | 加藤 | 0 |
| 0 | 米平 | GK | 浜尾 | 0 |
| 3 | 斜木 | FP | 高橋 | 1 |
| 3 | 今吉 | FP | 片岡 | 1 |
| 1 | 古賀 | FP | 渡辺 | 3 |
| 6 | 松元 | FP | 塚本 | 0 |
| 4 | 末永 | FP | 石崎 | 2 |
| 3 | 西田 | FP | 石塚 | 1 |
| 1 | 山元 | FP | 斯波 | 0 |
| 0 | 福永 | FP | 小野寺 | 1 |
| 0 | 水吉 | FP | 中村 | 2 |
| 0 | 川畑 | FP | 大岡 | 0 |
| 18 | (1) | PT | (2) | 11 |

審（浅野・武田）

〇…前半、明倫スピードに欠ける。国分実着実に得点しリードするが、国分実のミス等から6対7と食い下がる。後半立ち上がり、国分実・松元の活躍で16－11と加点し国分実ペース。再度、明倫攻めるが国分実GKの吉元に好守され、国分実引き離し18－11で終了。

熊本市立 24（10－6 / 14－6）12 日川

| 得 | （熊本） | | （日川） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 松野 | GK | 横内 | 0 |
| 0 | 野中 | GK | 後藤 | 0 |
| 3 | 鋤崎 | FP | 風間 | 0 |
| 9 | 甕川 | FP | 丹羽 | 0 |
| 0 | 清村 | FP | 早川 | 0 |
| 4 | 藤本 | FP | 広瀬 | 0 |
| 3 | 上村 | FP | 小泉 | 3 |
| 0 | 笠井 | FP | 丸山 | 3 |
| 3 | 福島 | FP | 鮎沢 | 4 |
| 2 | 米野 | FP | 高橋 | 2 |
| 0 | 金井 | FP | 吉屋 | 0 |
| 0 | 辻浦 | FP | 井戸 | 0 |
| 24 | (0) | PT | (2) | 12 |

審（小友・谷藤）

〇…熊本市立・甕川のロングシュートで先攻、日川は熊本のディフェンスを崩せず10分過ぎまで無得点、10分過ぎにポストプレーで得点、つづいてサイドシュートが決り日川もペースを掴みかけた所でシュートミスが続き、逆に熊本の速攻、甕川のロングが決り10対6で前半終了。後半、熊本の甕川のシュートがよく決り、又、GKの好捕もあってリードを広げる。日川は善戦するも熊本のディフェンスを崩せず終る。

▽準々決勝

昭和学院 17（6－2 / 11－6）8 佼成学園

〇…両チームとも好調な滑り出し、10分間五分の戦い、昭和は、

| 得 | （昭和） | | （佼成） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 神尾 | GK | 加藤 | 0 |
| | | GK | 和田 | 0 |
| 6 | 甲斐 | FP | 北島 | 0 |
| 0 | 斉藤和 | FP | 大場 | 4 |
| 0 | 菅田 | FP | 長良 | 3 |
| 0 | 斉藤美 | FP | 渡部 | 0 |
| 1 | 小松崎 | FP | 渡辺 | 0 |
| 1 | 須賀 | FP | 網野 | 1 |
| 0 | 河本 | FP | 鈴木 | 0 |
| 0 | 太古 | FP | 松本 | 0 |
| 4 | 石毛 | FP | 山本 | 0 |
| 5 | 岡村 | FP | 永田 | 0 |
| 17 | (4) | PT | (3) | 8 |

審（北井・上久保）

岡村のロングシュートなどで3対2とリード、佼成もペナルティを得て同点とするチャンスを失敗後無得点、昭和ペースで前半終了。後半、佼成も反撃し6対4とするが手痛い反則を犯し又もや離される。スピードで一枚上の昭和に対し佼成もよく健闘するが、13分過ぎからの昭和猛反撃にあい力尽きた。

水海道二 13（5－5 / 8－3）8 吉井

| 得 | （水二） | | （吉井） | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 小口 | GK | 渋谷 | 0 |
| 0 | 近沢 | GK | 浅香 | 0 |
| 0 | 富山い | FP | 武田 | 0 |
| 2 | 森 | FP | 須藤 | 0 |
| 3 | 太田 | FP | 春山 | 4 |
| 2 | 野添 | FP | 吉田 | 1 |
| 4 | 鈴木百 | FP | 山口 | 0 |
| 0 | 富山真 | FP | 佐藤美 | 1 |
| 1 | 磯山 | FP | 小林 | 1 |
| 0 | 遠藤 | FP | 佐藤容 | 1 |
| 0 | 中屋敷 | FP | 松井 | 0 |
| 1 | 小沼 | FP | 田中 | 0 |
| 13 | (1) | PT | (3) | 8 |

審（斉藤・田村）

〇…前半、両チームのGKの好守、両チームの動きの速い攻撃でチャンスを生かそうとするが、水海道・太田、磯山のロングシュートでリード、しかし、吉井も18分過ぎ小林のカットからの速攻、春



久しぶりの優勝を飾った熊本市立(準決勝戦より)

山のPTで同点とし前半が終った。後半、吉井・春山の速攻、PTでこの試合始めてのリード、水海道も必死に攻撃するが吉井の速い詰めでチャンスをつかめずミスが相手の得点となり苦戦、後半12分ようやく森のサイドシュートで同点、GKがPTを好守、流れを変え連続3ゴールで逆転。ロングも決まり始め逃げ切った。水海道GK小口の健闘が目立つ試合だった。

栃木女13（5—7 8—4）11市郁学園

○…前半、1点を争う好ゲームでややスピードに勝る市郁が2点リードで終った。後半に入ると俄然栃木女が盛り返し立ち上がりで逆転に成功した。

| 得 | (栃木女) | | (市郁) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 吉村 | GK | 桑原 | 0 |
| 0 | 山下 | | 嵜田 | 0 |
| 0 | 見目 | FP | 坂倉 | 0 |
| 2 | 渡辺 | | 小島 | 1 |
| 0 | 菅沼 | | 安東 | 8 |
| 5 | 柏川 | 審 | 桜井 | 1 |
| 0 | 福山 | | 佐藤 | 0 |
| 0 | 桜木 | (三枝 大塚) | 富広里 | 0 |
| 4 | 中村 | | 中山 | 1 |
| 2 | 名塚 | | 樅山 | 0 |
| 0 | 片柳 | | 辻 | 0 |
| 0 | 藤沼 | | 富広晃 | 0 |
| 13 | (0) | PT | (0) | 11 |

両チームとも、素晴らしいサイドシュートが見られ、好ゲームであった。栃木女はGKの好守が光った。

熊本市立31（15—4 16—6）10国分実

| 得 | (熊本) | | (国分実) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 松野 | GK | 吉元 | 0 |
| 0 | 野仲 | | 米平 | 0 |
| 1 | 鋤崎 | FP | 斜木 | 1 |
| 13 | 巽川 | | 今吉 | 0 |
| 1 | 清村 | | 古賀 | 3 |
| 2 | 藤本 | 審 | 松元 | 2 |
| 6 | 上村 | | 末永 | 3 |
| 1 | 笠井 | (南波 新橋) | 西田 | 0 |
| 3 | 福島 | | 山元 | 1 |
| 3 | 米野 | | 福永 | 0 |
| 1 | 金井 | | 永吉 | 0 |
| 0 | 辻浦 | | 川畑 | 0 |
| 31 | (8) | PT | (0) | 10 |

○…速い動きの熊本が上村を中心とする速攻や巽川のロング、PTなどで着々と得点を重ねる一方国分実も古賀、松元、末永のロングなどで必死に追いすがるものの、いまひとつ決定力に欠け、逆に熊本に速攻を許すという悪いパターンの連続となった。後半に入っても熊本の動きは止まらず、国分実の必死の追い上げも試合の流れを変えるまでにはいかなかった。熊本はゲームメーカー上村の速い動きが光った試合であった。

▽準決勝

昭和学院11（6—3 5—4）7水海道二

| 得 | (昭和) | | (水二) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 神尾 | GK | 小口 | 0 |
| | | | 近沢 | 0 |
| 7 | 甲斐 | FP | 富山い | 0 |
| 1 | 斉藤和 | | 森 | 0 |
| 0 | 菅田 | | 太田 | 1 |
| 1 | 斉藤美 | 審 | 野添 | 2 |
| 0 | 小松崎 | | 鈴木百 | 1 |
| 0 | 須賀 | (清水 岡本) | 富山真 | 0 |
| 0 | 河本 | | 磯山 | 3 |
| 0 | 太古 | | 鈴木恵 | 0 |
| 0 | 石毛 | | 遠藤 | 0 |
| 2 | 岡村 | | 小沼 | 0 |
| 11 | (1) | PT | (0) | 7 |

○…開始早々スピードあふれるゲーム展開であったが、ややスピードに勝る昭和が前半13分で6—1とリード、しかし、水海道も粘り6対3とし後半に期待をつないだ。後半に入り、前半13分以降得点のなかった昭和であったが、キャプテン甲／斐が後半全得点をたたき出す活躍で決勝進出を果たした。両チームのGKの好守が光る試合であった。

熊本市立14（6—6 8—5）11栃木女

| 得 | (熊本) | | (栃木女) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 松野 | GK | 吉村 | 0 |
| 0 | 野仲 | | 山下 | 0 |
| 2 | 鋤崎 | FP | 見目 | 2 |
| 5 | 巽川 | | 渡辺 | 0 |
| 0 | 清村 | | 菅沼 | 7 |
| 0 | 藤本 | 審 | 柏川 | 0 |
| 1 | 上村 | | 福山 | 0 |
| 0 | 笠井 | (千野 斉藤) | 桜木 | 1 |
| 2 | 福島 | | 中村 | 1 |
| 0 | 米野 | | 名塚 | 0 |
| 0 | 金井 | | 片柳 | 0 |
| | | | 藤沼 | 0 |
| 14 | (2) | PT | (1) | 11 |

○…前半、お互いにパス、キャッチミスが目立ちシーソーゲームになり同点で終了。後半、栃木女のスカイが決まりリードするかに見えたが、熊本の左ロングが決まり出し、結局4点差の勝負であった。

▽決勝

熊本市立18（7—9 11—7）16昭和学院

| 得 | (熊本) | | (昭和) | 得 |
|---|---|---|---|---|
| 0 | 松野 | GK | 神尾 | 0 |
| 0 | 野仲 | | | |
| 1 | 鋤崎 | FP | 甲斐和 | 4 |
| 11 | 巽川 | | 斉藤和 | 1 |
| 1 | 清村 | | 菅田 | 0 |
| 2 | 藤村 | 審 | 斉藤美 | 2 |
| 3 | 上村 | | 小松崎 | 0 |
| 0 | 笠井 | (三枝 大塚) | 須賀 | 0 |
| 0 | 福島 | | 河本 | 0 |
| 0 | 米野 | | 太古 | 0 |
| 0 | 金井 | | 石毛 | 1 |
| | | | 岡村 | 8 |
| 18 | (4) | PT | (2) | 16 |

○…前半3分熊本巽川のロングシュートで両チームとも堅さがとれ激しい攻防戦になった。昭和がフォーメーションプレーで岡村のシュートが決まり2点差で前半リード。後半も昭和・岡村の連続シュートでリードを広げるかに見えたが、11分過ぎにはシュートが入らず、その間熊本は巽川のロングと藤本のポストプレーで同点に追いつき、鋤崎キャプテンのポストシュートで逆転に成功した。両チームとも決勝にふさわしいきびきびした動きであった。

# 9月～10月のハンドボールイベント

## 第9回日本ハンドボールリーグ　1部―後期

| 週 | 月・日(曜) | 開催地 | 会場 | 第1試合 | 第2試合 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 9月8日(土) | 栃木・栃木 | 栃木市総合体育館 | 14:00 湧永製薬×大崎電気 | 15:20 ジャスコ×日立栃木 | 報道 |
| | | 茨城・岩井 | 岩井市総合体育館 | 13:30 大同特殊鋼×本田技研鈴鹿 | 14:50 ビクター×ブラザー | |
| | 9月9日(日) | 千葉・市川 | 市川市民体育館 | 12:00 日立栃木×ビクター | 13:30 日新鉄鋼×三陽商会 | 報道 |
| 2 | 9月15日(土) | 岐阜・岐阜 | 岐阜県民体育館 | 15:30 立石電機×日立栃木 | | 報道 |
| | 9月16日(日) | 福島・福島 | 福島県体育館 | 14:00 大崎電気×三陽商会 | | 報道 |
| 3 | 9月22日(土) | 京都・京都 | 京都府立体育館 | 15:00 湧永製薬×本田技研鈴鹿 | 16:30 立石電機×大崎電気 | 報道 |
| | 9月23日(日) | 兵庫・明石 | 明石市中央体育会館 | 13:00 ジャスコ×ブラザー | 14:30 湧永製薬×日新製鋼 | 報道 |
| | 9月24日(月) | 沖縄・那覇 | 奥武山体育館 | 14:30 大同特殊鋼×大崎電気 | | 報道 |
| 4 | 9月29日(土) | 福井・福井 | 福井県営体育館 | 16:00 大同特殊鋼×日新製鋼 | | 報道 |
| | | 三重・四日市 | 四日市体育館 | 14:30 ジャスコ×大崎電気 | 15:50 本田技研鈴鹿×三陽商会 | |
| | 9月30日(日) | 富山・富山 | 富山県総合体育センター | 13:00 ビクター×東京重機 | 14:30 日新製鋼×大崎電気 | |
| | | 愛知・名古屋 | 露橋スポーツセンター | 14:00 大和銀行×ブラザー | 15:30 大同特殊鋼×三陽商会 | 報道 |
| 5 | 11月3日(土) | 広島・広島 | 広島市安芸市スポーツセンター | 13:00 大和銀行×東京重機 | 14:30 湧永製薬×三陽商会 | 報道 |
| | 11月4日(日) | 福岡・久留米 | 県立久留米体育館 | 13:00 ブラザー×東京重機 | 15:00 本田技研鈴鹿×大崎電気 | 報道 |
| 6 | 11月10日(土) | 北海道・函館 | 函館市民体育館 | 16:00 大崎電気×日立栃木 | 17:40 日新製鋼×本田技研鈴鹿 | 報道 |
| | | 熊本・熊本 | 熊本県民総合体育館 | 16:00 立石電機×ジャスコ | | |
| 最終 | 11月17日(土) | 大阪・大阪 | 大阪中央体育館 | 17:00 大和銀行×ビクター | 18:20 湧永製薬×大同特殊鋼 | 報道 |

## 第9回日本ハンドボールリーグ　2部―後期

| | 開催地 | 会場 | 組み合わせ | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 9月8日(土) | 大崎電気体育館(埼玉) | 10:00 中村荷役×本田技研熊本 | 11:20 三景×トヨタ自動車 | |
| | | | 12:40 トヨタ車体×大阪ガス | 14:00 イーグルス×日鉄建材 | |
| | 9月9日(日) | 〃 | 10:00 中村荷役×トヨタ自動車 | 11:20 三景×本田技研熊本 | |
| | | | 12:40 トヨタ車体×日鉄建材 | 14:00 イーグルス×大阪ガス | |
| | 9月15日(土) | 岐阜県体育館 | 14:00 日鉄建材×大阪ガス | | ※ |
| | 9月16日(日) | 福島県体育館 | 11:00 中村荷役×三景 | 12:30 北国銀行×ムネカタ | ※ |
| | 9月29日(土) | 福井県営体育館 | 14:30 トヨタ車体×イーグルス | | ※ |
| | 11月3日(土) | 大阪ガス体育館(大阪) | 12:30 トヨタ自動車×大阪ガス | 13:50 中村荷役×イーグルス | |
| | | | 15:10 トヨタ車体×三景 | 16:30 本田技研熊本×日鉄建材 | |
| | 11月4日(日) | 〃 | 10:00 本田技研熊本×大阪ガス | 11:20 中村荷役×トヨタ車体 | |
| | | | 12:40 三景×イーグルス | 14:00 トヨタ自動車×日鉄建材 | |
| | 11月10日(土) | 熊本県総合体育館 | 14:30 トヨタ自動車×本田技研熊本 | | ※ |

※は1部併催会場

## 第39回国民体育大会ハンドボール競技
●10月12日(金)～17日(水)　〈奈良県生駒市〉

## 第27回全日本学生ハンドボール選手権
●11月21日(水)～25日(日)　〈金沢中央体育館〉

# 賛助会はみんなの会だ

## ☆　何をするか？

オリンピックはどうなっているか？
今年はどんな外国チームが来る？
日本リーグで強いのはどこか？
大学では？　高校では？
ハンドボールのビデオが欲しい。
そう。学校卒業後ハンドボールから遠ざかってしまったがハンドボール界の様子を知りたいという人、もっとハンドボールのテクニックを研究したいという人、……。みんながハンドボールをやったりしてenjoyできればいいのです。

## ☆　会員になったら？

次のような特典があります。

①日本ハンドボール協会編月刊「ハンドボール」を毎月送ります。
②ハンドボールのイベントなどの情報をお届けします。
③日本ハンドボール協会主催の各種大会、日本リーグがただで見られます。
④ハンドボールビデオ、スコアブック、ルールブック、教科書等を特別価格でお届けします。

## ☆　会費は？

①個人会員　1口　5千円　1口以上
4口（2万円）以上納付された方を特別個人会員として機関誌に公示し、希望により口数に応じた特典を差し上げます。
②法人会員　1口5万円　1口以上
6口（30万円）以上納付された方を特別法人会員として機関誌に公表し、希望により口数に応じた特典を差し上げます。

年会費は、財団法人日本ハンドボール協会の賛助会特別会計で処理され、賛助会の経費に充てた余剰は、強化及び普及事業に充当されます。

## ☆　入会の手続きは？

特別の郵便振替用紙（兼申込書）を本誌に綴じ込んであります。

OB会、会社や地方協会など団体で個人会員をまとめて納付される場合は、手数料として会費の10%を控除していただいて結構です。

## 特別賛助会員御芳名

（受付順、太字は前号以降。敬称略。）

※特別法人会員　㈱デサント　アシックス㈱　新日本製鉄㈱　㈱三陽商会　中村荷役運輸㈱　㈱三景　ジャスコ㈱　大同特殊鋼㈱　プラザー工業㈱　日本ビクター㈱　大日印刷㈱　大崎電気工業㈱　日新製鋼㈱　㈱日立製作所栃木工場　立石電機㈱　日鉄建材工業㈱　湧永製薬㈱

---

※特別個人会員　滝沢　武（滝沢ハム・栃木市）　斎藤英四郎（日本協会・東京都）　荒川清美　武田喜三　大野金一岡　竹内史衛（淡青社公認会計士事務所・東京都）　伊藤克己（群馬県）　黒田富郎（日本協会・日野市）　平岡秀雄（日本協会・東京都）　岡村千春（所沢市）　渡辺慶寿（日本協会・宇都宮市）　阿部二郎（同・茨城県）　滝口三郎（同・東京都）　北川勇喜（同・横浜市）　大西武三（同・茨城県）　中沢重夫（同・東京都）　金原至（同・氷見市）　林達夫（同・名古屋市）　正畠明雄（広島市）　川上整司（日本協会・狭山市）　村田弘（同・堺市）　岡前義春（同・府中市）　富永劭（同・水戸市）　安藤純光（同・日野市）　山本佐知子（ノタリーノ・東京都）　嶋田新太郎（氷見市）　木下浩次（名古屋市）　田中滋章（日本協会・名古屋市）　小袋是郎（福岡市）　入江信太郎（日本協会・茨城県）　柳井文治（日本協会・下松市）　山田計（日本協会・豊中市）　黒住宗晴（岡山）　福田誠（日本協会・東京都）　境井秀三（日本協会・桶川市）　高橋満年（愛媛）　伊藤和夫（日本協会・名古屋市）　梅村忠雄（名古屋市）　三鴨博（立川市）　日野　博（北九州市）　河本武夫（日本協会・松山市）　高田日呂美（日本協会・東京都）　近藤正次（岡山市）　山田　稔（日本協会・藤井寺市）　幡谷祐一（水戸市）







# 瞬間、信頼の手がかり!

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する



## モルテンハンドボール

独特のリブ形状とパネル間段差の"32面体ノンスリップ構造"で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟（I．H．F．）公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。

**モルテン ハンドボール**

株式会社 モルテン

## '84ロス五輪のオフィシャルサプライヤーに!

モルテンは'84ロサンゼルスオリンピック大会のオフィシャルサプライヤーとして、ロサンゼルスオリンピック組織委員会の公認を受け、バスケットボールとタンゴサッカーボールを公式試合球として提供することが決まっています。

---

**brother**

# 日本人タイプライター。




ワープロの頭脳と、タイプライターの使いやすさがひとつになりました。タイプライターのブラザーが、日本語をぐんと面白くしてしまいました。1400万台の生産実績をほこるブラザーがそのタイプ技術・エレクトロニクス技術を総結集して生んだ日本人のためのタイプライター。手にしたその日から、誰でもビックリするほど簡単に美しい日本語が打てます。指一本で自由自在。使い方も無限。しかも、使い場所を選ばない超軽量タイプです。「書く」から「打つ」へ——日本語の新しい時代が、いま、ピコワードからはじまります。



ブラザー日本語パーソナルライター

# ピコワード

**ブラザー工業株式会社**

名古屋市瑞穂区堀田通9-35 〒467
TEL: (052)824-2511(代表)

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二三三号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和五九年 八月二十五日 印刷
昭和五九年 九月 一日 発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表（481）二三六一
振替 東京 六－一五八三四八番
編集兼発行人 大野金一
定価三百五拾円（年間購読料三千三百円）